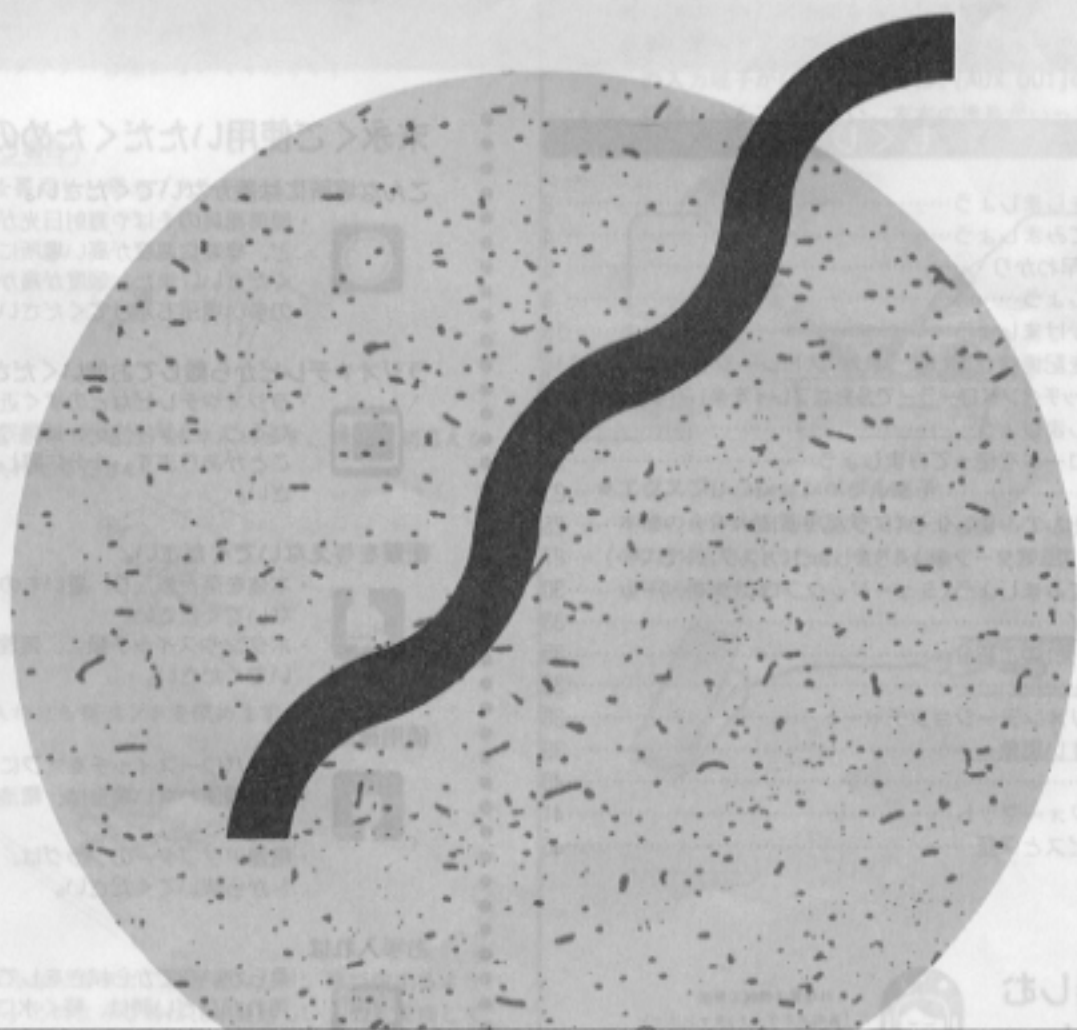


PORTATONE PSR-3500

取扱説明書



YAMAHA

ほしあそび音楽
イセでモエ

このたびは、 ヤマハ・ポータトーンPSR-3500を お買い求めいただきまして、 誠にありがとうございます。

本書は、PSR-3500の魅力を充分ご理解いただけるよう、操作方法を機能別に解説したものです。
お読みになった後も、保証書と共に大切に保管して、わからないことや不都合が生じた際にご覧ください。

PSR-3500の特長

- ◆リアリティあふれるDASS(デュアル・アーキテクチャル・シンセシス・システム)音源による100音色と100スタイル。
- ◆オーケストラとソロに加え、デュアルボイス、アンサンブル、デュエットなどの効果を駆使して魅力のサウンドプレイが楽しめます。
- ◆迫力のステレオサウンド。
- ◆プレイしながら操作できるロールバーとピッチベンドローラー。
- ◆パネル設定を瞬時に再現できるレジストレーションメモリー。
- ◆オートベースコード機能を3モード(シングルフィンガー、フィンガード、マニュアルベース)搭載。
- ◆ドラムパッドを押すだけで、40種類の打楽器音と16種類の効果音が楽しめます。
- ◆オリジナルの伴奏パターンを作成できるカスタムドラマー。
- ◆演奏をパート録音・パート再生できるミュージックプログラマー。
- ◆音楽表現の可能性が限りなく広がるMIDI機能。

もくじ

	ページ
音を出す準備をしましょう	2
デモ曲を聴いてみましょう	4
PSR-3500早わかり	5
音色を選びましょう	9
音色に効果をかけましょう	13
パネルの状態を記憶させましょう(レジストレーションメモリー)	16
ロールバーとピッチベンドローラーで多彩なプレイを楽しみましょう	17
リズムを鳴らしましょう	18
オートベースコードを使ってみましょう	20
コード早見表	23
打楽器の音を出してみましょう(ドラムパッド)	25
オリジナルのリズムパターンをつくりましょう(カスタムドラマー)	27
演奏を録音してみましょう(ミュージックプログラマー)	30
レッツ・プレイ	33
オプション(別売)のご紹介	35
MIDI	36
MIDIインプリメンテーションチャート	38
故障と誤りやすい現象	39
仕様	40
MIDIデータフォーマット	41
アフターサービスと保証	46

未永くご使用いただくためのご注意

こんな場所には置かないでください。



- ・暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など、極端に温度が高い場所には置かないでください。また、湿度が高かったりホコリの多い場所も避けてください。

ラジオやテレビから離してお使いください。



- ・ラジオやテレビなどのすぐ近くで使用になると、ラジオやテレビ側で雑音を発することがあります。十分に離してお使いください。

衝撃を与えないでください。



- ・本体を落としたり、重いものをのせたりしないでください。
- ・ボタンやスイッチ類に、無理な力を加えないでください。

使用後は



- ・必ずパワースイッチをオフにしてください。
- ・長い間使わない場合は、電池を抜いておいてください。
- ・電源アダプターのプラグは、電源コンセントから抜いてください。

お手入れは



- ・柔らかい布で拭きをしてください。
- ・汚れがひどい時は、軽く水に湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやベンジンなどの溶液は、本体の外装を傷めますので、絶対に使わないでください。

音楽を楽しむ エチケット



これは電子機械工業会
「音のエチケット」キャンペーン
のシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するののも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

音を出す準備をしましょう

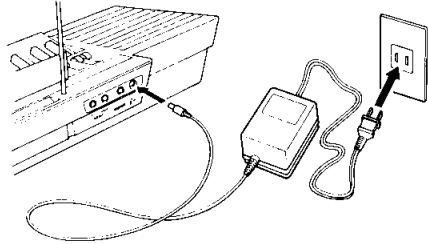
電源をセット

PSR-3500の電源は、家庭用コンセントと乾電池の両方を使用することができます。

家庭用コンセントから電源をとる場合

付属の電源アダプター・PA-4を使用します。図のように接続してください。

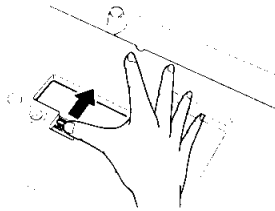
- ①リアパネルにある電源アダプター接続用端子[DC IN(9V-12V)]へ差し込む。



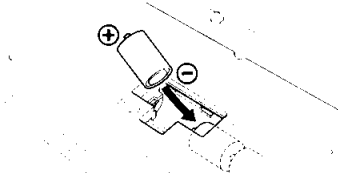
- ②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。
※他の電源アダプターは使わないでください。

乾電池を使う場合

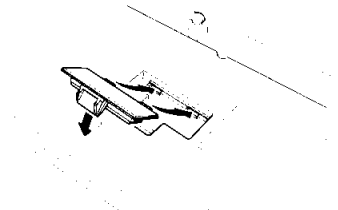
- ①PSR-3500を裏返し、電池ボタンを外します。



- ②市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。



- ③乾電池を入れたら電池ボタンを閉めます。



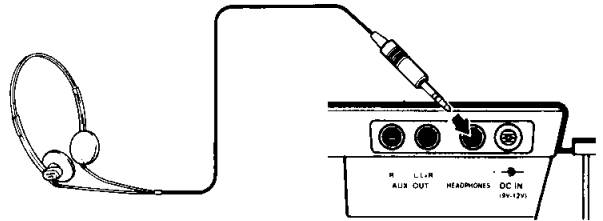
※電池が少なくなりますと、音が歪んだり、誤動作するようになります。このような時は、6本共新しいものと交換してください。

お買い求めの際、乾電池は単1アルカリ乾電池 6本とご指定ください。

付属端子

●ヘッドホン端子

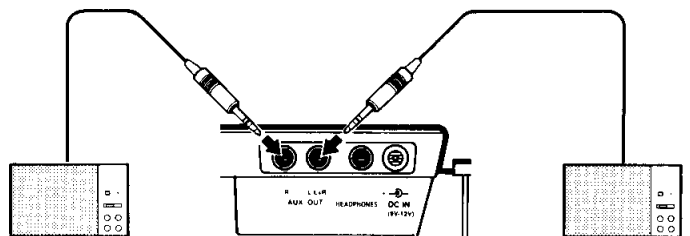
ヘッドホンで聞きたい時は、[HEADPHONES]端子に接続します。内蔵スピーカーからは音が出なくなるので、夜間の練習に最適です。



●AUX出力端子

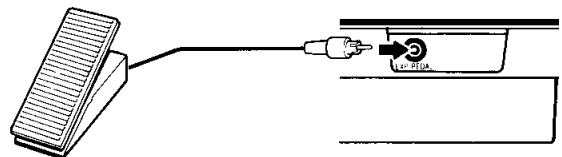
キーボードアンプやステレオオーディオシステムなどで、より迫力ある大きな音で鳴らしたい時は、ホーンプラグコードで、本機の[AUX. OUT]端子と外部機器の[LIN IN] (または[AUX. IN])端子間を接続します。

※キーボードアンプがひとつの場合やオーディオシステムの入力端子がひとつの場合は、[AUX. OUT]のL/L+R端子に差し込んでください。左右の信号がいっしょに出力されます。



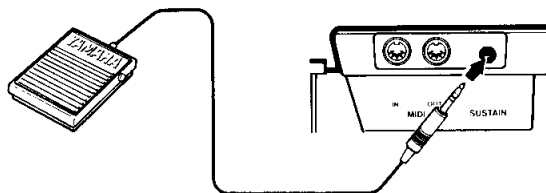
●エクスプレッションペダル端子

本機の全体の音量を足元でコントロールしたい時は、別売のエクスプレッションペダル(35ページ参照)を[EXP. PEDAL]端子に接続します。



●サステイン端子

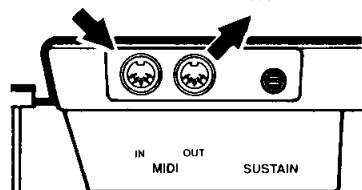
サステイン効果を足元でコントロールしたい時は、別売のフットスイッチ(35ページ参照)を[SUSTAIN]端子に接続します。(パネルのサステインボタンがオフの時は機能しません。)



●MIDI端子

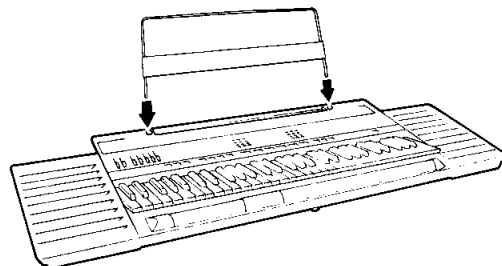
[IN]は、本機がMIDI情報を受信するための入力端子です。
[OUT]は、本機が送信するMIDI情報を出力する端子です。
詳しくは36ページ以降をご覧ください。

外部MIDI機器より 外部MIDI機器へ



譜面立ての取り付け方

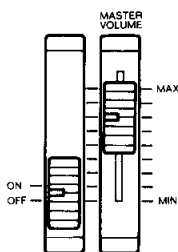
付属の譜面立てを本機に固定させてください。矢印の穴に譜面立ての足を差し込むだけです。



デモ曲を聴いてみましょう

PSR-3500にはデモ曲が入っており、いつでも自由に聞くことができます。

- ①パワースイッチをオンにします。
- ②マスターボリュームをMAXの4分の3くらいにします。



- ③デモンストレーションボタンを押すと、プリセット(内蔵)されているデモ曲が鳴りだします。



※パワースイッチをオンにした時、パネルの状態は下のようになります。

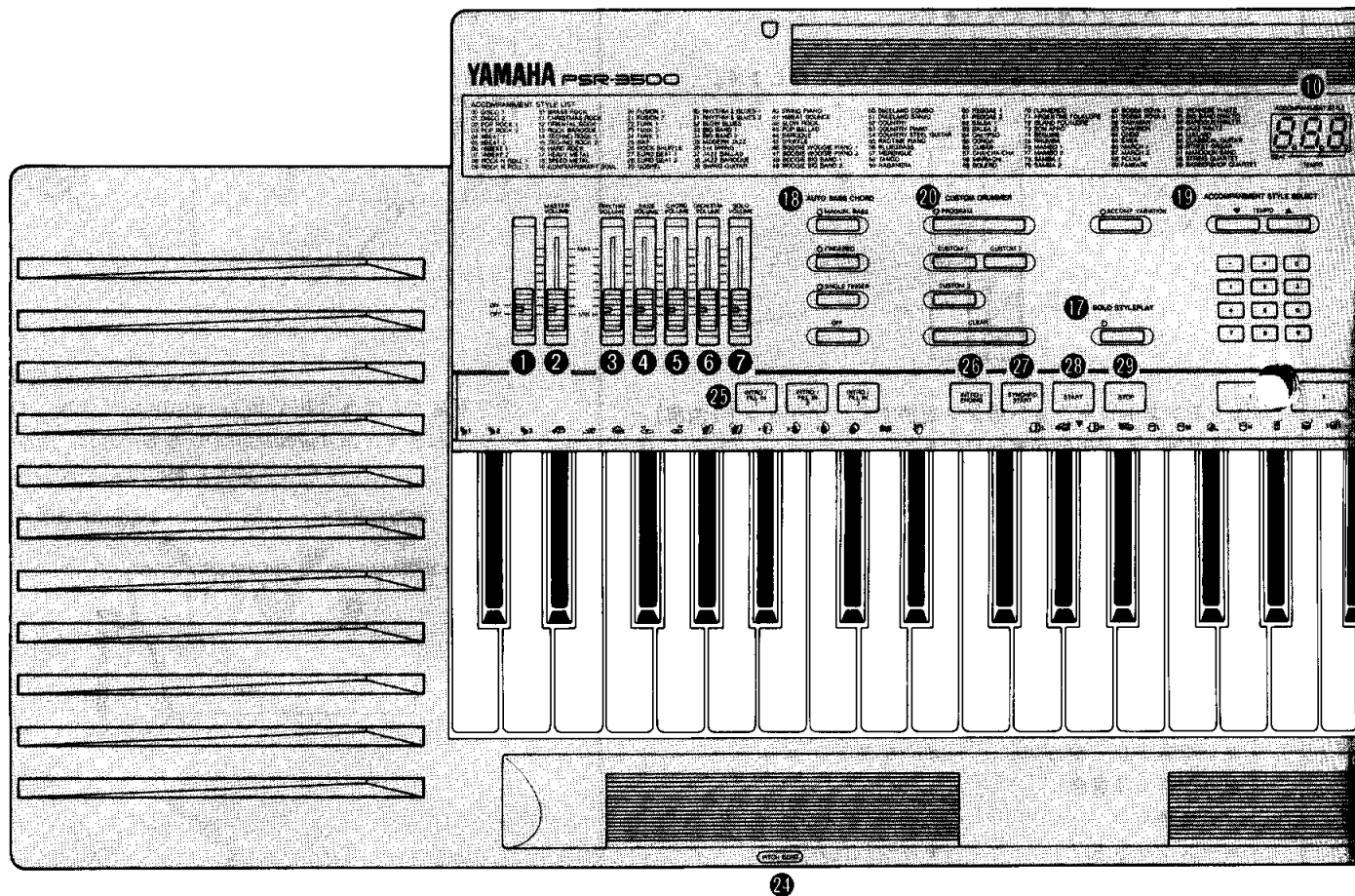
オーケストレーション	→オーケストラ オン
オーケストラ音色	→No.00<ピアノ1>
ソロ音色	→No.00<ピアノ1>
キースプリット	→▼<F#2とG2の間>
アカンパニメント・スタイル	→No.00<ディスク1>
ピッチ	→ノーマル<A3=440Hz>
トランスポーズ	→ノーマル
パッド	→サウンドエフェクト オン
	→シンクロブレイク オン
ロールバー	→マスターエクスプレッション

用語の解説

- ピッチ(12ページ参照)
発音の高さ(音程)です。音の高さを微調整したい時は、ピッチの値を変更します。(ノーマルの状態ではA3=440Hz)
- トランスポーズ(12ページ参照)
移調を意味します。全体的に音の高さ(キー)を変えて鳴らすことができます。

PSR-3500早わかり

PSR-3500の概要をご紹介します。詳しい操作については、()内に示したページをご覧ください。



① パワースイッチ(→4ページ)

電源を入れたり、切ったりするスイッチです。

② マスターボリューム(→4ページ)

全体の音量を調節するレバーです。

③ リズムボリューム(→18ページ)

リズムの音量を調節するレバーです。

④ ベースボリューム(→20ページ)

オートベースコードのベース音の音量を調節するレバーです。

⑤ コードボリューム(→20ページ)

オートベースコードのコード音の音量を調節するレバーです。

⑥ オーケストラボリューム(→9ページ)

オーケストラ音色の音量を調節するレバーです。

⑦ ソロボリューム(→9ページ)

ソロ音色の音量を調節するレバーです。

⑧ ピッチボタン(→12ページ)

音程を微調整するボタンです。

⑨ トランスポーズボタン(12ページ)

音程を半音単位で上げ下げするボタンです。簡単に移調できます。

⑩ 3桁LEDディスプレイ(→12、18、29ページ)

アカンパニメントスタイル番号、ビート(拍)、テンポ(速さ)、MIDIのモード等を表示します。

⑪ 2桁LEDディスプレイ(→9、10、20ページ)

音色番号、MIDIのデータ値等を表示します。

⑫ MIDIボタン(→36ページ)

各種のMIDIモードやMIDIチャンネルを設定する時に押します。

⑬ デモンストレーションボタン(→4ページ)

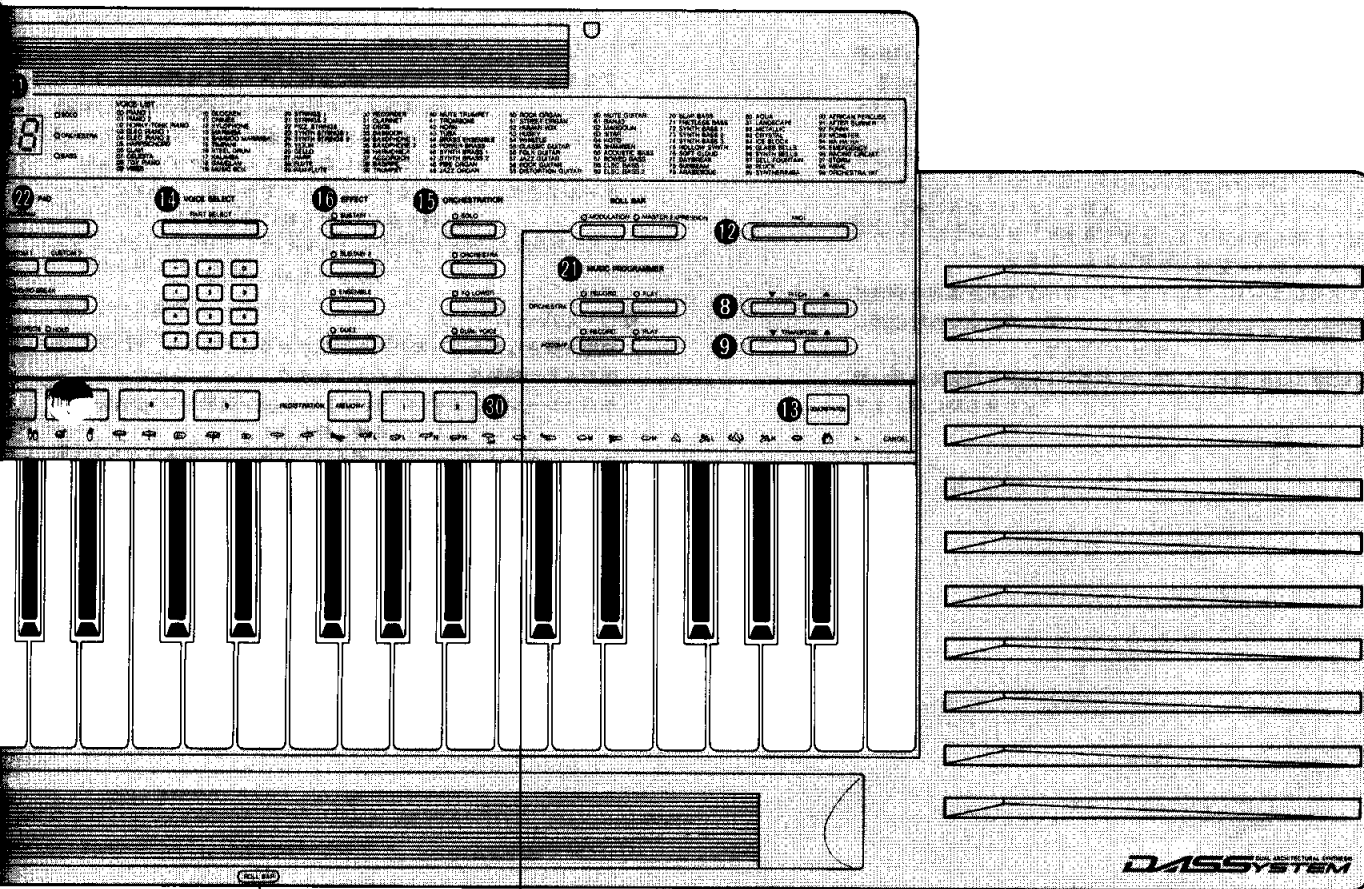
デモ演奏をスタート/ストップさせるボタンです。

⑭ ボイスセレクト(→9、10、20、36ページ)

音色を選ぶボタンです。

パートセレクトボタン：ソロ、オーケストラ、ベースのうち、どのパートの音色を切り替えるか指定するボタンです。

テンキー(-、+、0~9)ボタン：音色を選ぶボタンです。MIDIのモード設定時にも使います。



⑩オーケストレーション(→9、10、11ページ)

ソロボタン：ソロ音色を発音させる時に押します。
 オーケストラボタン：オーケストラ音色を発音させる時に押します。
 トワーローボタン：低音鍵盤部と高音鍵盤部を異った音色で鳴らす時に押します。
 デュアルボイスボタン：2つのオーケストラ音色を色々組み合わせで発音させる時に押します。

⑪エフェクトボタン(→13ページ)

サステイン1、2ボタン：音に余韻をつける時に押します。2種類の余韻があります。
 アンサンブルボタン：音を広げる効果を加える時に押します。
 デュエットボタン：自動的にハーモニーがつくようにする時に押します。

⑫ソロスタイルプレイボタン(→14ページ)

演奏に対して自動的に付加音などの効果を加える時に押します。

⑬オートベースコード(→20～22ページ)

マニュアルベースボタン：左手でベースを弾く時に押します。
 フィンガードボタン：左手で普通にコードを押さえて自動伴奏させる時に押します。
 シングルフィンガーボタン：左手の指一本で自動伴奏させる時に押します。
 オフボタン：3種類のどの機能も使わない時は、このボタンを押します。

⑭アカンパニメントスタイルセレクト(18、21ページ)

テンキー(-、+、0-9)ボタン：アカンパニメントスタイルを選ぶボタンです。
 テンポボタン：曲のテンポを調節するボタンです。
 アカンパニメントバリエーションボタン：コードやベースの伴奏パターンを切り替えるボタンです。

② カスタムドラマー(→27~29ページ)

カスタムドラマー機能により、独自のリズムパターンを作成したり、作成したリズムパターンを再生させることができます。リズムパターンは、3パターン記憶させることができます。

プログラムボタン：リズムパターンを作成する時に押します。

カスタム1~3ボタン：作成したリズムパターンを保存したり再生する時に3つの番号の中から選んで押します。

クリアボタン：リズムパターンを最初から作成する時にリズムパターンを消すボタンです。

③ ミュージックプログラマーボタン(→30~32ページ)

ミュージックプログラマーにより、演奏をリアルタイムに録音したり、録音した曲を再生させることができます。オーケストラとアカンパニメントを別々に記憶させることができます。

オーケストラレコード、プレイボタン：オーケストラ演奏を録音する時、再生させる時に押します。

アカンパニメントレコード、プレイボタン：伴奏を録音する時、再生させる時に押します。

④ パッド(→25、26ページ)

パッド1~6：これらのパッドを叩くと、打楽器音または効果音が鳴ります。

サウンドエフェクト、カスタム1・2ボタン：どのボタンを押すかにより、パッド1~6の音色の割り当てが変わります。

プログラムボタン：パッド1~6に音色を割り当てる時に押します。
(40種類の打楽器音および16種類の効果音の中からそれぞれの音色を選択できます。カスタム1、2のそれぞれに割り当てることができます。)

ホールドボタン：パッドを叩いて鳴らす効果音を、自動的にリピート(繰り返し)させる時に押します。

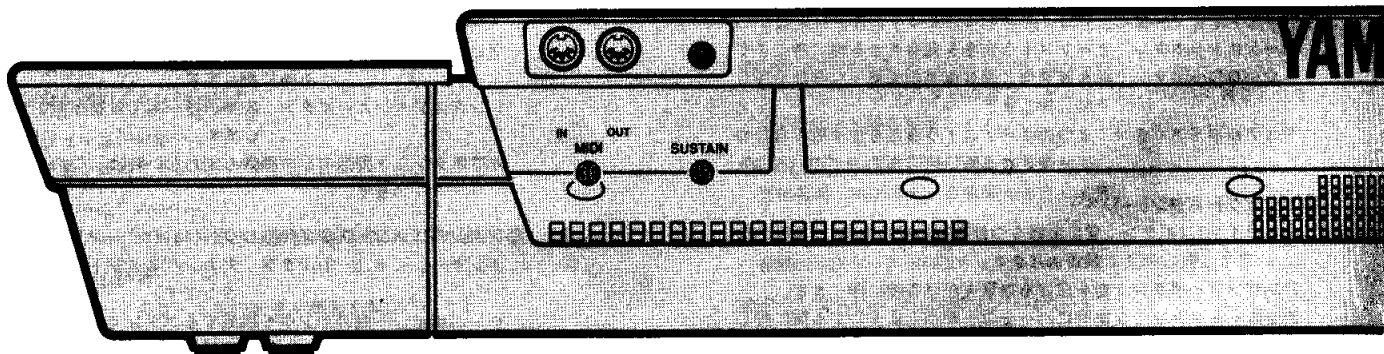
シンクロブレイクボタン：パッドを叩いている間だけリズムをストップさせる時に押します。

⑤ ロールバー(17ページ)

鍵盤を弾きながらロールバーを回転させることにより、以下の中で選択された機能をコントロールできます。

モジュレーションボタン：モジュレーション効果をコントロールする時に押します。

マスターエクスプレッションボタン：全体の音の大きさをコントロールする時に押します。



⑫ピッチベンドローラー(→17ページ)

このコントローラーで音程を上下させて、ギターのコウキンのような効果が出せます。

⑬イントロ/フィルイン1~3ボタン(→19ページ)

イントロパターンで曲を始めたり、曲の途中でフィルインを入れるボタンです。1~3の3種類のパターンがあります。

⑭イントロ/エンディングボタン(→19ページ)

イントロパターンで演奏を開始させたり、エンディングパターンで演奏を終了させるボタンです。

⑮シンクロナスタートボタン(→19ページ)

オートベースコード用鍵盤を押すと同時に伴奏やリズムをスタートさせる時に押します。

⑯スタートボタン(→18ページ)

自動伴奏やリズムをスタートさせるボタンです。

⑰ストップボタン(→18ページ)

自動伴奏やリズムを停止させるボタンです。

⑱レジストレーション(→16ページ)

パネル上の設定を、2パターン記憶させることができます。

メモリーボタン：パネル上の設定を記憶させる時は、このボタンと1,2ボタンのどちらかを同時に押します。

1,2ボタン：記憶させたパネル上の設定を呼び出す時に押します。

1,2の2種類あります。

⑲DC IN(9V-12V)(電源アダプター接続用端子)(→2ページ)

付属の電源アダプターPA-4を接続する端子です。

⑳HEADPHONES(ヘッドホン端子)(→2ページ)

ヘッドホンを接続する端子です。

㉑AUX. OUT(R,L/L+R)(AUX出力端子)(→2ページ)

本機の音を送る端子で、キーボードアンプやステレオで鳴らすことができます。

㉒EXP. PEDAL(エクスプレッションペダル端子)(→2ページ)

エクスプレッションペダルを接続する端子です。

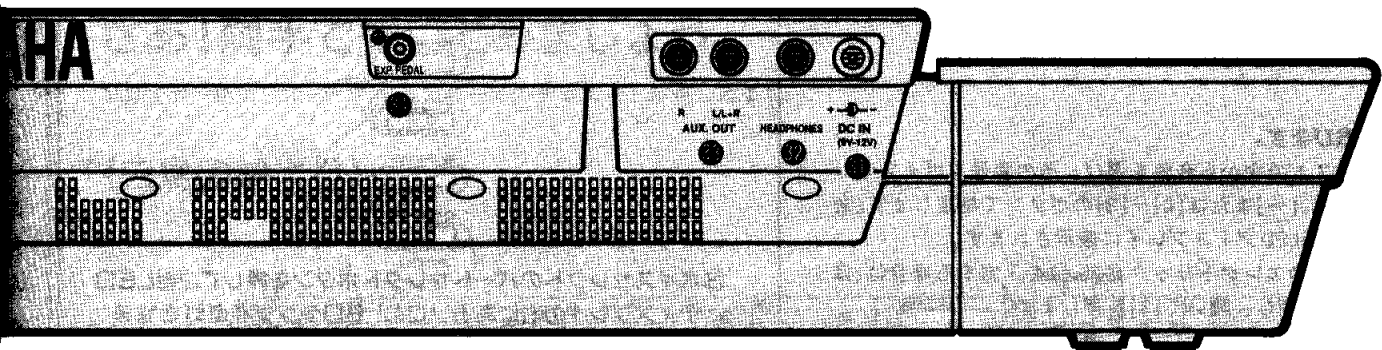
㉓SUSTAIN(サスティン端子)(→3ページ)

サスティンペダルを接続する端子です。

㉔MIDI(→3,36ページ)

MIDI OUT(MIDIアウト端子)：本機のMIDI情報を他のMIDI機器へ送る端子です。

MIDI IN(MIDIイン端子)：他のMIDI機器からMIDI情報を受ける端子です。

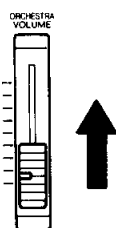


音色を選びましょう

音色にはオーケストラ音色とソロ音色があります。またトゥーロー機能を使うと、鍵盤を低音鍵盤部と高音鍵盤部に分けて弾くことができます。(低音鍵盤部はオーケストラ音色で、高音鍵盤部はソロ音色で鳴ります。)

オーケストラ

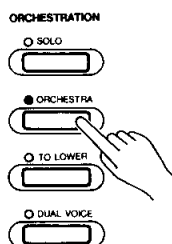
①オーケストラボリュームを調節します。



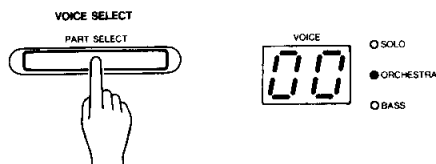
②オーケストレーションのオーケストラボタンを押してランプを点灯させます。

オーケストラ以外のボタンがオンになっている時は、そのボタンを押して、オフ(ランプ消灯)にしてください。

★電源投入時は、オーケストラがオンの状態になっています。



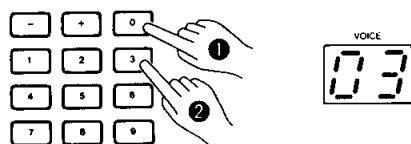
③ボイスセレクトのパートセレクトボタンを押して、2桁LEDディスプレイの右にあるオーケストラのLEDランプを点灯させます。



④音色を選びます。

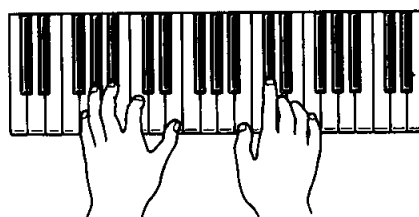
ボイスリストの中から音色を選び、その番号をボイスセレクトの[+]、[-]または[0]~[9]のボタンで指定します。音色番号は2桁LEDディスプレイに表示されます。

例えばNo.03のエレクトリックピアノ1を入力する場合は、はじめに[0]を押し、続いて[3]を押します。



★[+]、[-]ボタンは数字を一つずつ増減させます。99で[+]を押すと00に、また00で[-]を押すと99になります。また[+]と[-]を同時に押すと、今選んでいる音色番号の10の位が固定されます([+]または[-]をもう一度押すと解除できます。)。この機能は、[0]~[9]のボタンを使い、指一本で1の位だけを選んで、10種類の音色を呼び出すことができ便利です。

⑤鍵盤を弾いて鳴らしてみましょう。

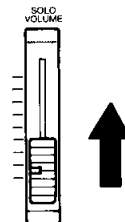


★8音まで同時に発音させることができます。(発音数は、ソロボイスやオートベースコードなどの再生状態によって異なります。)

→詳しくは、21ページをご覧ください。

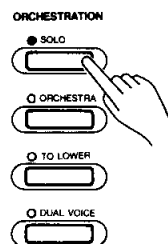
ソロ

①ソロボリュームを調節します。

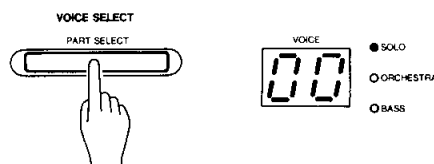


②オーケストレーションのソロボタンを押します。

ソロ以外のボタンがオンになっている時は、そのボタンを押して、オフにしてください。

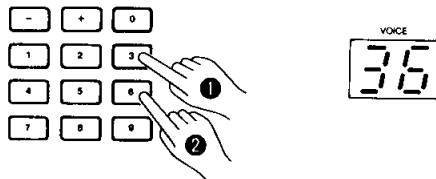


③ボイスセレクトのパートセレクトボタンを押して、2桁LEDディスプレイの右にあるソロのLEDランプを点灯させます。



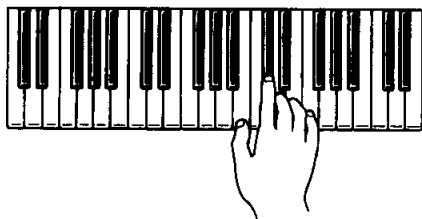
④音色を選びます。

ボイスリストの中から音色を選び、その番号をボイスセレクトの[+]、[-]または[0]~[9]のボタンで指定します。音色番号は2桁LEDディスプレイに表示されます。例えばNo.36のハーモニカを指定する場合は、はじめに[3]を押し、続いて[6]を押します。



★[+]、[-]ボタンは数字を一つずつ増減させます。99で[+]を押すと00に、また00で[-]を押すと99になります。また[+]と[-]を同時に押すと、今選んでいる音色番号の10の位が固定されます([+]または[-]をもう一度押すと解除できます。)。この機能は、[0]~[9]のボタンを使い、指一本で1の位だけを選んで、10種類の音色を呼び出すことができ便利です。

⑤鍵盤を弾いて鳴らしてみよう。



★発音は1音のみで、複数押鍵した場合は最高音が発音されます。

- ★オーケストラボタンとソロボタンを両方ともオンにすると、オーケストラ音色とソロ音色の両方が発音され、アンサンブルを楽しむことができます。
- ★オーケストラボタンとソロボタンが両方ともオフの場合は、オーケストラ音色が発音されます。

トゥーローワー

伴奏とメロディーを異なる音色で楽しんでみましょう。

- ①オーケストレーションのトゥーローワーボタンを押します。低音鍵盤部はオーケストラ音色で、高音鍵盤部はソロ音色で発音されるようになります。



- ★ソロとオーケストラボイスのオン/オフに関係なく、上記のように発音されます。
- ★低音鍵盤部のオーケストラ音色は、実際の鍵盤より1オクターブ高く発音されます。

さあ!両手で弾いてみましょう。

ソロでオーボエ、オーケストラでハープのデュエットが楽しめます。

〈白鳥の湖より〉

ソロ

3 2 Oboe

オーケストラ

2 7 Harp



The musical score shows two staves. The top staff is for the Oboe (Solo) and the bottom staff is for the Harp (Orchestra). The Oboe part starts with a box containing '3 2' and the Harp part starts with a box containing '2 7'. The music is in 3/4 time and consists of several measures of notes.

※オクターブ下で演奏します。

スプリットポイント

伴奏(低音鍵盤部)とメロディー(高音鍵盤部)鍵盤の境界点をスプリットポイントといいますが、パワースイッチをオンにした時、スプリットポイントはF#2とG2の間の位置になっています。必要に応じて、G#2とA2の間に変更することができます。



-  G#2とA2の間に変更する時は……
G#2を押しながらシングルフィンガー、フィンガード、マニュアルベースのいずれかのボタンを押します。
-  F#2とG2の間に戻す時は……
F#2を押しながらシングルフィンガー、フィンガード、マニュアルベースのいずれかのボタンを押します。
- ★すでにシングルフィンガー、フィンガード、マニュアルベースのいずれかのモードになっている場合は、ボタンを押す時に、そのモード以外のボタンを押してください。(例: シングルフィンガーになっている場合は、フィンガードかマニュアルベースのボタンを押します。)
- ★リズムをスタートさせた後は、スプリットポイントを変更できません。

デュアルボイス

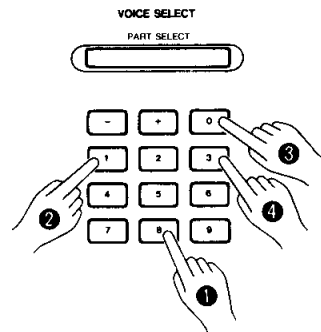
2つのオーケストラ音色を同時に発音させることができます。

- ①デュアルボイスボタンを押してランプを点灯させます。
パワースイッチオン後のデュアルボイスオンの状態では、ピアノ1とオーケストラヒットがミックスされた音色になります。

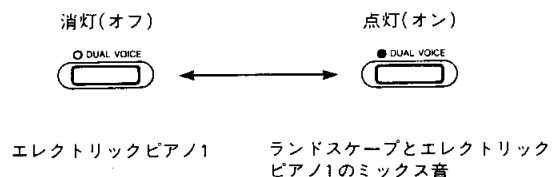


- ★トゥーローワーがオンになっていると、デュアルボイスはオンにできません。この場合は、トゥーローワーをオフにしてください。

- ②ボイスセレクトボタンで音色を指定します。
2つの音色を指定しますが、ミックスされる音色は、最後に指定した音色とその前に指定されていた音色です。なお、2つの音がミックスされるので、デュアルボイスオン時の同時発音数は、ミックス前の半分になります。
例えばNo.81のランドスケープとNo.03のエレクトリックピアノ1のデュアルボイスの場合は、[8]→[1]→[0]→[3]の順に押します。



- ★デュアルボイスオン状態の時にトゥーローワーやデュエットをオンにすると、デュアルボイスは解除されます。
- ★デュアルボイスをオフにする場合は、再びデュアルボイスボタンを押してランプを消灯させてください。
- ★1曲の中で、デュアルボイスのオンとオフを使い分けると効果的です。
例えばNo.81のランドスケープとNo.03のエレクトリックピアノ1のデュアルボイスの場合は、次のようになります。

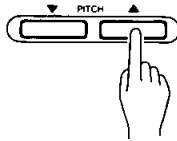


ピッチ

音の高さ(音程)を、他の楽器やいろいろな再生音楽に合わせる時に使う、チューニングのための機能です。

①ピッチボタンでチューニングを行います。

[▼](ダウン)と[▲](アップ)ボタンで変更します。変更できる範囲は-50セント(1/2半音)~+50セント(1/2半音)までで、0はノーマルです(1ステップで約3セント変化します)。100セントは半音です。

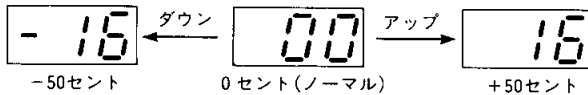


★[▼]または[▲]ボタンを押し続けると、値は連続して変化します。

②[▼]ボタンと[▲]ボタンを同時に押すとノーマルに戻ります。

また、パワースイッチをオンにした時はいつもノーマルになっています。

★ボタンを押す毎に、ピッチの値が3桁LEDディスプレイに約3秒間表示されます。



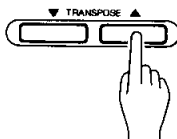
トランスポーズ

全体のキーを半音単位で上げ下げする機能です。弾き方を変えなくても移調できたり、鍵盤の最低音より低い音や、最高音より高い音を出すことができます。

①トランスポーズボタンを押します。

[▼](ダウン)と[▲](アップ)ボタンで変更します。変更できる範囲は-6(-1/2オクターブ)~+6(1/2オクターブ)までで、0はノーマルです。

例えば値を5にして、ハ長調の曲を弾くと5半音高い音が出て、ヘ長調に移調されます。



②[▼]と[▲]ボタンを同時に押すとノーマルに戻ります。

また、パワースイッチをオンにした時は、いつもノーマルになっています。

★ボタンを押す毎に、トランスポーズの値が3桁LEDディスプレイに3秒間表示されます。



音色に効果をかけましょう

好みに応じていろいろな効果をかけてみましょう。音に余韻がつくサスティンや、ハーモニーがつくデュエットなどがあります。

サスティン

音に余韻をつける効果です。

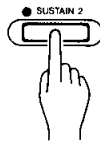
①短めの余韻をつけます。(ショートサスティン)

サスティン1ボタンを押してランプを点灯させます。



②自然な感じの余韻をつけます。(ロングサスティン)


サスティン2ボタンを押してランプを点灯させます。

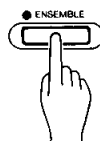


- ★オーケストラ音色とソロ音色を両方発音させている場合も、サスティン効果が同時にかかります。
- ★別売のフットスイッチを使って、足元でオン/オフさせることもできます。
- ★フットスイッチが接続されておりペダルがオフの時は、サスティン効果は得られません。また、ペダルがオンでも、パネルのサスティンボタンがオフの時は効果は得られません。
- ★サスティン1とサスティン2の効果を同時にオンすることはできません。後から押えた方が機能します。
- ★サスティンをオフにする時は、オンになっている方のボタンを押してランプを消灯させてください。

アンサンブル

その音色の楽器が集まってアンサンブルをしているような効果を得ることができます。

 アンサンブルボタンを押してランプを点灯させます。



★音色番号によっては、効果のかかり方が薄い場合や音色が変わる場合があります。


★オーケストラ音色とソロ音色の両方を発音させている場合も、アンサンブル効果が同時にかかります。

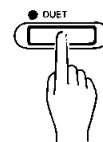
★アンサンブル効果をオフにする時は、再びアンサンブルボタンを押してランプを消灯させてください。

デュエット

オートベースコードを使用している時に機能するもので、ハーモニーの効果が得られます。オートベースコード検出鍵域での押鍵コードによって、自動的にメロディーにふさわしい音が付け加えられます。

(オートベースコードについては20~24ページを参照してください。)

 デュエットボタンを押してランプを点灯させます。低音部鍵盤でオートベースコードのフィンガードまたはシングルフィンガーコードの弾きかたをしながら、高音部鍵盤を弾いてください。高音部鍵盤での演奏音とは別のハーモニー音が付加されます。付加音の音色はオーケストラ音色で選んだ音色になります。ソロ音色のみオンになっていても、付加音はオーケストラ音色で発音されます。



- ★同時に複数の鍵盤を押さえた場合は、そのメロディーの最高音にのみ付け加わります。
- ★デュエット機能がオンになっている時にトゥーローやデュアルボイス機能をオン状態にすると、デュエット機能は解除されます。
- ★トゥーロー機能がオンになっている場合は、デュエット機能はオンにできません。
- ★デュエット機能をオフにする時は、再びデュエットボタンを押してランプを消灯させてください。

ソロスタイルプレイ

演奏中の曲に自動的に付加音や効果加わるようになります(どのような付加音や効果加わるかは、スタイルごとに決まっています)。なお、この機能を使った場合は、高音側の鍵盤でのオーケストラ音色による演奏が単音に制限されます。

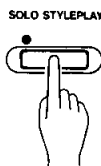
①スタイルを選びます。

アカンパニメントスタイルリストの中からリズムを選びます。(詳しくは20ページをご覧ください。)

②演奏モードを選びます。

オートベースコードのボタンで、シングルフィンガーで演奏するかフィンガードで演奏するかを決めます。(詳しくは20ページをご覧ください。)

③ソロスタイルプレイボタンを押してランプを点灯させます。



★オートベースコードのモードがフィンガードになっている場合以外は、シングルフィンガーに自動設定されます。オーケストラボイスがオンになり、音色番号も自動設定されます。

★自動的にシンクロスタートスタンバイ状態になります。(詳しくは19ページをご覧ください。)

★ソロスタイルプレイをオンにすると、そのスタイルにふさわしいオーケストラ音色が自動的に設定されます。

★トゥーローとデュアルボイス、デュエットはオフになります。

④演奏をはじめます。

キースプリットより左側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を弾くと、自動的に伴奏が始まります。

⑤演奏を終了させます。

リズムのストップまたはイントロ/エンディングボタンを押して、演奏を終了させます。

★リズムを停止させた状態でも、スタイルによっては付加音や効果音加わるものがあります。

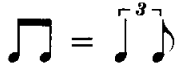
★ソロスタイルプレイをオフにする時は、再びソロスタイルプレイボタンを押してランプを消灯させてください。

ソロスタイルプレイ1

バイブとピアノのハモリながらのメロディー弾きが、いかにもジャズコンボスタイル風な演奏になります。

〈枯葉〉 LES FEUILLES MORTES -- Autumn Leaves --

作曲：Joseph KOSMA



3 5 Modern Jazz



日本音楽著作権協会(出)許諾第8971217-901号

© a) Publié avec l'autorisation de MM. ENOCH & Cie, Editeurs propriétaires, Paris.

b) Paroles Françaises de Jacques PRÉVERT.

c) Copyright 1947 by ENOCH & Cie.

Rights for Japan assigned to SUISEISHA Music Publishers, Tokyo.

ソロスタイルプレイ2

72ならシロフォン、95ならギター、97ならバンジョーによるトレモロ演奏が雰囲気をもっと盛り上げます。

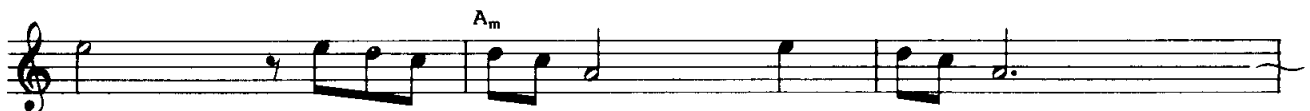
〈コンドルは飛んでゆく〉 EL CONDOR PASA

作曲：D.A. ROBLES

7 2 Island Folklore

9 5 Classical Guitar

9 7 Mandolin Band



日本音楽著作権協会(出)許諾第8971217-901号

© Copyright MCMXXXIII, MCMLXIII, MCMLXX by Edward B. Marks Music Corp. and Jorge Milchberg.

Rights for Japan controlled by TOA MUSIC INTERNATIONAL Co. Used by Permission.

パネルの状態を記憶させましょう

(レジストレーションメモリー)

パネルの情報を記憶させ、ボタンひとつで再現することができます。

①レジストレーションをセットします。

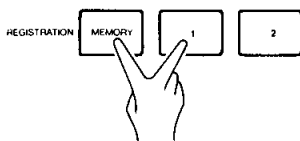
パネルのボタンやレバーのセッティング状態をレジストレーションといいます。記憶させたい状態にレジストレーションをセットします。

〈レジストレーションとして記憶される内容〉

- ・オーケストラボリューム
- ・ソロボリューム
- ・リズムボリューム
- ・コードボリューム
- ・ベースボリューム
- ・オートベースコードのモード
- ・アカンパニメントバリエーション
- ・スタイルセレクト
- ・ソロスタイルプレイのオン/オフ
- ・カスタムドラマー1~3
- ・テンポ
- ・ソロのオン/オフ
- ・オーケストラのオン/オフ
- ・トゥーローのオン/オフ
- ・ソロ音色の選択
- ・オーケストラ音色の選択
- ・サステイン1・2
- ・アンサンプルのオン/オフ
- ・デュエットのオン/オフ
- ・デュアルボイスのオン/オフ
- ・デュアルボイスの音色の選択
- ・サウンドエフェクトのオン/オフ
- ・ホールドのオン/オフ
- ・ドラムパッド カスタム1、2
- ・シンクロブ레이크
- ・ロールバーの機能の選択
- ・ベース音色の選択
- ・スプリットポイント
- ・パートセレクト

②レジストレーションを記憶させます。

レジストレーションのメモリーボタンを押しながら、数字(1、2)ボタンのどちらかを押します。2パターンまで記憶させることができます。

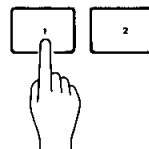


★記憶させると、以前その番号に入っていた内容は消されます。

★各ボリューム値まで記憶されますが、マスターボリュームは記憶されません。

③レジストレーションを呼び出します。

数字ボタンを押します。すると、その番号に記憶されていたレジストレーションがパネルに展開されます。



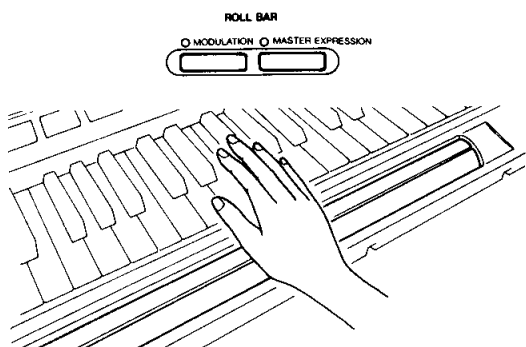
★電源をオフにしても、記憶された内容は消えません。(記憶されている期間は約1週間です。)

ローラーとピッチベンドローラーで 多彩なプレイを楽しみましょう

コントロールする機能を選ぶことができるローラーや、チョーキング効果を出せるピッチベンドローラーは、鍵盤を弾きながら操作することができる便利な機能です。


ローラー

モジュレーション、マスターエクスプレッションのどちらかの機能を選択することができます。それぞれのモードボタンを押して、ローラーを回転操作します。



1. モジュレーション

オーケストラ音色とソロ音色の変調(音のゆれ具合)の度合を変化させることにより、効果を変化させるものです。鍵盤側に回転させるにしたがって、変調は深くなります。


 モジュレーションボタンを押してランプを点灯させ、バーを操作します。



★変化があまり感じられない音色もあります。

2. マスターエクスプレッション

全体の音量を変化させます。鍵盤側に回転させるにしたがって、音量がアップします。

 マスターエクスプレッションボタンを押してランプを点灯させ、バーを操作します。



★可変幅は、中央にある状態の時に対して-6dB(半分)~+6dB(2倍)です。

★電源投入時は、マスターエクスプレッションがオンの状態になっています。

★ローラーは同時に2つの機能を設定することはできません。

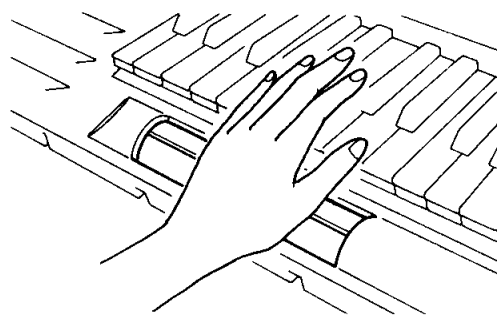
★点灯しているボタンを押すことで、ローラーの機能をオフにすることができます。この時の音量は、各エクスプレッションオン時にローラーが中央位置にある場合と同じになります。

ピッチベンドローラー

オーケストラ音色とソロ音色のピッチ(音程)を連続的に変化させ、チョーキング効果を作り出します。リアルタイムでかかるのはソロ音色・オーケストラ音色だけで、オートベースコード、ミュージックプログラマー、サウンドエフェクトには作用しません。また、トゥーローオン時のローにも作用しません。



鍵盤側に回転させるにしたがって、ピッチ(音程)が上がります。また、手前側に回転させるとピッチは下がります。



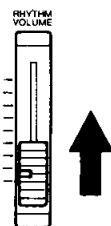
★ピッチ(音程)の可変幅は<±200セント>です。

リズムを鳴らしましょう

100種類のアカンパニメント(伴奏)スタイルがプリセットされています。

リズムの選択

①リズムボリュームを調節します。

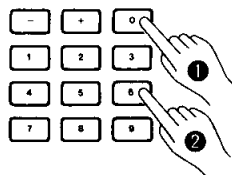


②リズムを選びます。

アカンパニメントスタイルリストの中からリズムを選び、その番号をアカンパニメントスタイルセレクトの[+]、[-]または[0]~[9]のボタンで指定します。

番号は3桁LEDディスプレイに表示されます。

例えばNo.06の16ビート1を指定する場合は、はじめに[0]を押し、続いて[6]を押します。



★[+]ボタンを押すと数字は一つ増え、[-]ボタンを押すと数字は一つ減ります。99から[+]を押した場合は00、00から[-]を押した場合は99になります。また、同時に押すと今選んでいるスタイルの10の位が固定されます。(もう一度[+]か[-]のボタンを押すと解除できます。)

10の位を固定させる機能は、[0]~[9]のボタンを使い指一本で1の位だけを選んで、10種類のアカンパニメントスタイルを呼び出すことができ便利です。

③リズムをスタート

スタートボタンを押すとリズムが鳴りだします。



④リズムストップ

ストップボタンを押すとリズムが止まります。



ビート(拍)の表示

リズムをスタートさせると、3桁LEDディスプレイ下の3つのLEDが拍に合わせて点灯します。

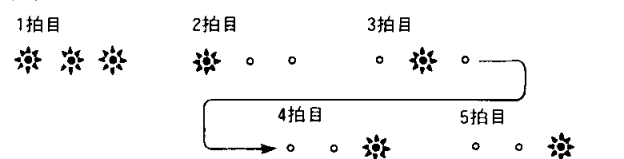


例)4/4拍子のリズムの場合



→以降この8拍を繰り返し

例)5/4拍子のリズムの場合



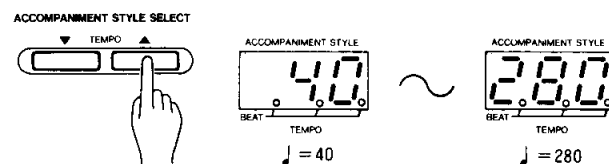
→以降この5拍を繰り返し

★各小節の1拍目では、必ず1番左の赤色LEDが点灯します。

テンポを変える

テンポボタンの[▼](ダウン)[▲](アップ)で、リズムの速さを変更することができます。

押し続けていれば、連続的に数値が変わります。変更後のテンポは、3桁LEDディスプレイに約2秒間表示されます。変更できる範囲はJ=40~280です。



★各スタイルごとに、そのスタイルにふさわしいテンポがセットされています。

★リズムを止めた状態でスタイル変更すると、テンポはそのスタイルのセット値になります。また、リズムをスタートさせた後にスタイル変更すると、前のスタイルのテンポが維持されます。

★[▼]と[▲]ボタンを同時に押すと、そのスタイルのセット値に戻ります。

シンクロスタート

演奏と同時にリズムをスタートさせることができる機能です。

- ①リズムを選んだ後、シンクロスタートボタンを押します。
シンクロスタンバイの状態になり、ビートランプの左側のLEDがテンポと同じ速さで点滅します。



②演奏の開始

キースプリットポイントより左の伴奏用鍵盤を押鍵して演奏を開始すれば、リズムも同時にスタートします。

- ★シンクロスタンバイを解除する場合は、ストップボタンを押します。
- ★リズムをスタートさせた後にこのボタンを押すと、シンクロスタンバイ状態に変わってリズムが停止します。

イントロ/エンディング

選んだリズムに応じたイントロを加えてスタートさせたり、エンディングパターンで終了させることができます。

- 🎵 リズムを止めた状態(シンクロスタンバイ中も同様)でイントロ/エンディングボタンを押すと、選んだリズムにふさわしい2小節分のイントロパターンからリズムが鳴りだします。
- 🎵 リズムが鳴っている時にこのボタンを押すと、2小節のエンディングパターンが鳴って停止します。小節の終わり頃にボタンを押すと、次の小節の頭からエンディングパターンになります。
- 🎵 リズムが鳴っている時にイントロ/エンディングボタンを2回連続して押すと、次第にテンポが遅くなって止まります。(リタルダンド)

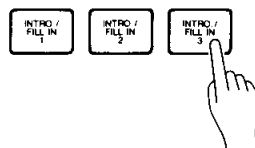


- ★エンディング中にイントロ/フィルインボタンを押すと、リズムパートがフィルインと入れ替わり、次の小節から通常パターンに戻るためリズムは停止しません。

イントロ/フィルイン1~3

フィルインパターンが得られる機能で、その小節の終わりまで入ります。3種類のパターンがあります。

- 🎵 リズムを止めた状態でイントロ/フィルイン1~3のいずれかひとつのボタンを押すと、それぞれのイントロパターンが鳴ってリズムがスタートします。
- 🎵 リズムをスタートさせた後にいずれかのボタンを押すと、押した直後にフィルインパターンが1小節鳴ります。押し続けるとフィルインパターンが長く続きます。



フィルイン1 :リズムパターンのみ変化。
フィルイン2・3:リズム、ベース、コードパターンが変化。
オートベースコードを使っているときに有効です。

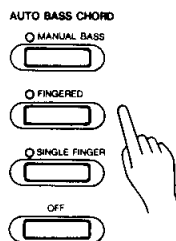
- ★フィルインは、選んだリズムにふさわしいパターンが得られるようになっています。
- ★フィルイン中にこのボタンをもう一度押すとフィルインパターンは解除され、普通のパターンに戻ります。

オートベースコードを使ってみましょう

コードパターンとベースパターンがリズムに連動して自動的に得られる機能で、3つのモード(弾き方)があります。

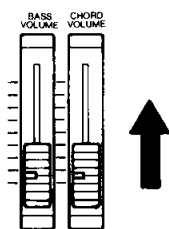
モード(弾き方)の選択

①オートベースコードの中からモードをひとつ選びます。



★フィンガードまたはシングルフィンガーを選んだ場合、メモリー機能(鍵盤から手を離してもオートベースコードが働く機能)が自動的にセットされます。

②ベースボリュームとコードボリュームを調節します。



★マニュアルベースはベース音のみです。

3つのモード

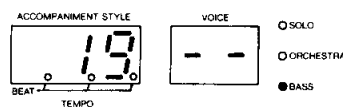
- ①マニュアルベース : ベースラインを自分で弾きたいときに使います。
★後着優先で単音発音します。
- ②シングルフィンガー : 鍵盤を一つ押さえるだけで、メジャーコードによる自動伴奏が得られる機能です。その他のコードでも2~3鍵押さえるだけです。(23ページ参照)
- ③フィンガード : 普通にコードを押さえて自動伴奏させる機能で、コード演奏になれている人に最適です。(23ページ参照)

アカンパニメントスタイルを選択

①アカンパニメントスタイルを選びます。(18ページ参照)

★シングルフィンガーまたはフィンガードの場合、アカンパニメントスタイルを選ぶと、自動的にそのスタイルにふさわしいベース音選ばれます。(ベース音の音色番号は、ボイスセレクトでベースが選ばれている時に、LEDディスプレイに表示されます。)

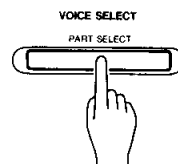
★LEDディスプレイに“—”が表示された時は、パネルに表示されていないアカンパニメント専用のベース音色です。(例:スタイルNo.19→コンテンポラリーソウル)



ベースボイスの選択

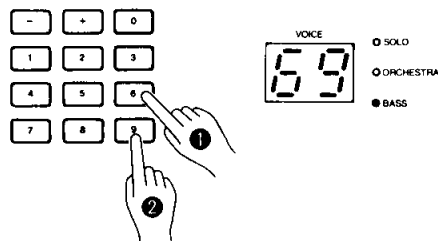
マニュアルベースの時や、シングルフィンガー、フィンガードのベース音を任意のものに変更する場合の操作方法です。

①ボイスセレクトのパートセレクトボタンを押して、2桁LEDディスプレイの右にあるベースのLEDランプを点灯させます。



②音色を選びます。

ボイスリストの中からベースの音色を選び、その番号を[+]、[-]または[0]~[9]のボタンで指定します。音色番号は2桁LEDディスプレイに表示されます。



オートベースコードの 検出範囲

フィンガードまたはシングルフィンガーを選んだ場合、スプリットポイントより左側がオートベースコード用鍵盤になります。

マニュアルベースの場合はベース用鍵盤となり、1オクターブ低い音で(ベース音)鳴るようになります。(音色によっては、1オクターブ低くならない場合があります。)



オートベースコード用鍵盤
ベース用鍵盤
(低音部鍵盤)

メロディー用鍵盤
(高音部鍵盤)

さあ弾いてみましょう!

①リズムスタートスタンバイ

下記のようなスタート方法がありますが、シンクロスタートを選ぶと、リズムと自動伴奏を同時にスタートさせることができ、とても便利です。

- ・スタート
- ・シンクロスタート
- ・イントロ/エンディングスタート
- ・イントロ/フィルイン1~3スタート

②演奏の開始

オートベースコード鍵盤を押さえると、自動伴奏が始まります。

- ★イントロが鳴っている最中は、オートベースコード鍵盤を押さえても自動伴奏音は出ませんが、イントロ終了後に伴奏音が出ます。
- ★コードを変える時、鍵盤から指を離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。
- ★オートベースコード鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。
- ★演奏を終了する時は、リズムを停止させる時と同様に、ストップやイントロ/エンディングボタンを押して自動伴奏を終了させます。

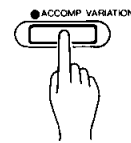
ソロボイス、オーケストラボイスの発音数

- ・ソロボイスとオートベースコードがオフの場合は、オーケストラ音色の音を最大8音まで同時に鳴らすことができます。

- ・上の状態の時にソロボイスをオンにすると、オーケストラ音色の音を最大7音まで同時に鳴らすことが可能になります。さらにオートベースコードをオンにすると、オーケストラ音色の音は最大で4音のみ同時に鳴らすことが可能になります。

バリエーション

- 🎵 アカンパニメントバリエーションを押すことで、LEDディスプレイに呼び出しているアカンパニメントのバリエーションパターンを楽しむことができます。



- ★バリエーションパターンでは、リズムは変化せずにコードとベースのパターンが変化します。
- ★バリエーションを切る時は、再びバリエーションボタンを押して、ランプを消灯させて下さい。

トゥーローワーとオートベースコードとの関係

オートベースコード時にトゥーローワー機能を使うと、各モードに応じて低音鍵盤部の音が下記のようにオーケストラ音色で鳴るようになります。(高音鍵盤部の音色はソロ音色です。)

- ・マニュアルベースの時
手弾きベース音(単音後着優先)がオーケストラ音色で鳴ります。
- ・シングルフィンガーの時
シングルフィンガーコードの構成音(3音)がオーケストラ音色で鳴ります。
- ・フィンガードの時
フィンガードの構成音に対して1オクターブ高い音が、最大4音オーケストラ音色で鳴ります。

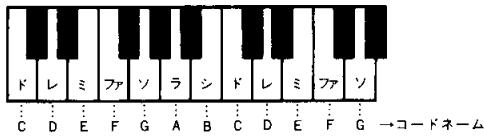
- ★構成音とは、押さえた鍵盤から自動的に構成されるコードの1つ1つの音のことです。

シングルフィンガーコードについて

シングルフィンガーモードの場合には、オートベースコードの鍵盤を次のように押します。

メジャーコードの時

CやFなど、大文字だけで書かれた和音(コード)をメジャーコードといい、明るい調子になります。メジャーコードの時は、1つの鍵盤を押さえるだけです。下図は、各オートベースコード用鍵盤を押した時に出る和音を示したものです。



#、bの付いたコードの時

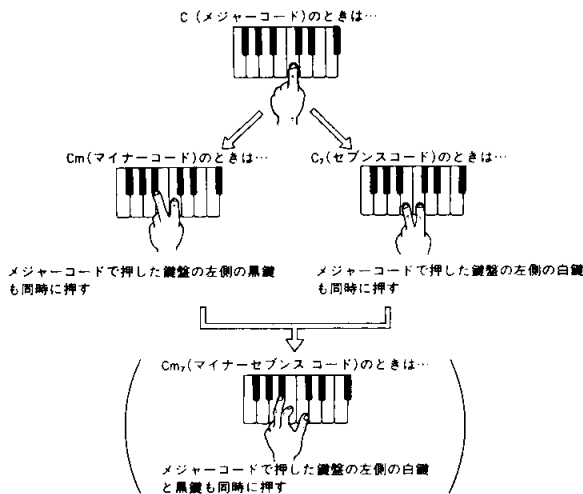
#が付いたコードの場合は上の図で示した鍵盤の右上の黒鍵を、bが付いたコードの場合は左上の黒鍵を押します。

マイナーコードの時

AmやDmなど、小文字のmが付いた和音をマイナーコードといい、もの悲しい調子になります。マイナーコードの時は、メジャーコードの時に押す鍵盤の他に、その左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。

セブンスコードの時

G7やD7など、数字の7が付いた和音をセブンスコードといい、曲によっては響きを変えるために使います。セブンスコードの時は、メジャーコードの時に押す鍵盤の他に、その左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。



※詳しくは、23ページの一覧表をご覧ください。

フィンガードコードについて

フィンガードモード時には、次の種類のコードを検出できます。なお、()内の音は弾かずに省略しても検出されます。

(例)Cコードの場合

メジャーコード ★ C	マイナーコード ★ Cm	セブンスコード ★ C ₇	マイナーセブンスコード Cm ₇	メジャーセブンスコード ★ CM ₇
マイナーセブンスフラットテッドフィフスコード Cm ₇ ^{b9}	セブンスサスフォーコード ★ C ₇ sus ₄	オーギュメントコード Caug	ディミニッシュコード Cdim	マイナーメジャーセブンスコード ★ CmM ₇
シックスコード C ₆	マイナーシックスコード Cm ₆	セブンスフラットテッドフィフスコード C ₇ ^{b9}		

※★印のコードは、転回形も検出されます。なお、dimコードとaugコードは、押さえた鍵盤の最低キーが根音として検出されます。

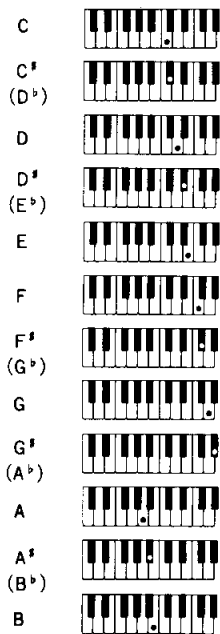
※例えば、C6とAm7のように構成音と同じコードの場合、最低音が6thの根音になっていると6(シックス)コードとして検出され、その他の場合は全てm7(マイナーセブンス)コードとして検出されます。

※m7-5とm6は構成音程が同じため、最低音がm6の根音になっているとm6として検出され、その他の場合は全てm7-5として検出されます。

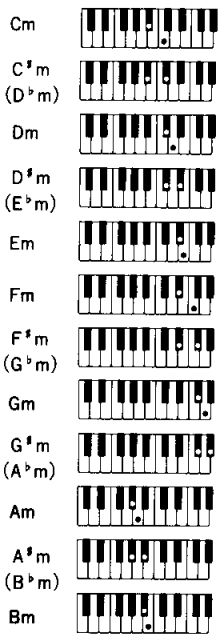
※7-5は押鍵の最低音が根音または短7度の音として検出されます。

シングルフィンガーコード

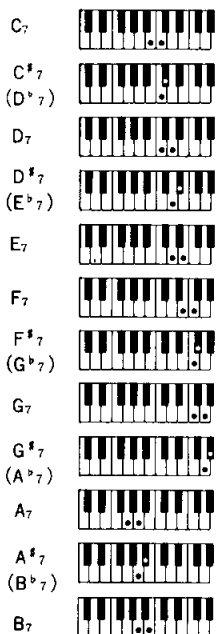
メジャー コード



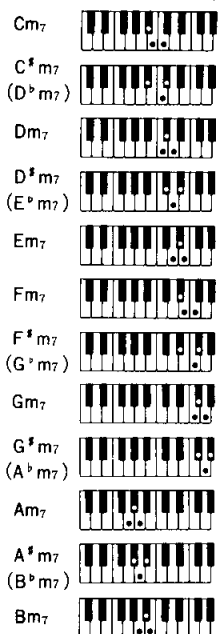
マイナー コード



セブンス コード



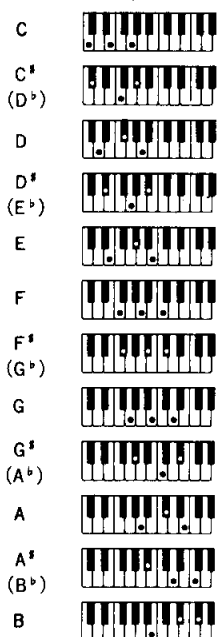
マイナー セブンス コード



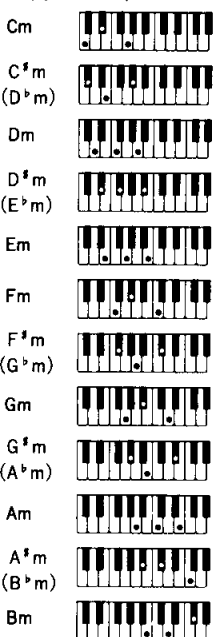
フィンガードコード

* マークの付いたコードは転回形、それ以外は全て基本形で書かれています。

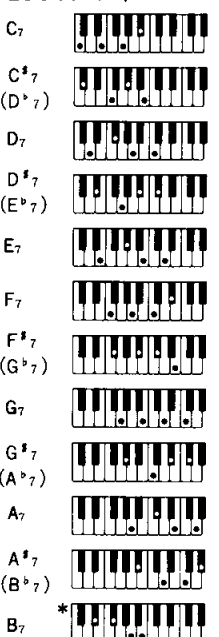
メジャー コード



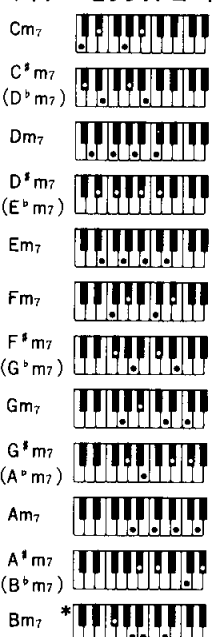
マイナー コード



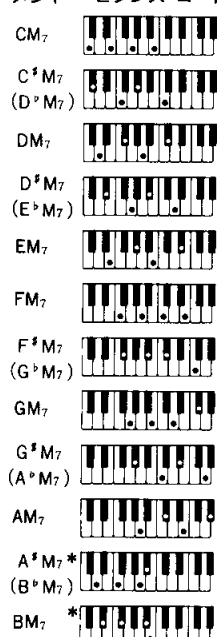
セブンス コード




マイナー セブンス コード





メジャー セブンス コード





オーギュメント コード


Caug 


C[♯]aug (D[♭]aug) 


Daug 


D[♯]aug (E[♭]aug) 


Eaug 


Faug 


F[♯]aug (G[♭]aug) 

Gaug 


G[♯]aug (A[♭]aug) 


Aaug 


A[♯]aug (B[♭]aug) 


Baug 

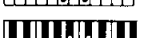
ディミニッシュ コード


Cdim 


C[♯]dim (D[♭]dim) 


Ddim 


D[♯]dim (E[♭]dim) 


Edim 


Fdim 


F[♯]dim (G[♭]dim) 

Gdim 


G[♯]dim (A[♭]dim) 


Adim 


A[♯]dim (B[♭]dim) 


Bdim 

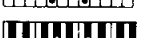
シックス コード

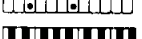
C₆ 


C[♯]₆ (D[♭]₆) 

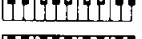
D₆ 


D[♯]₆ (E[♭]₆) 


E₆ 


F₆ 


F[♯]₆ (G[♭]₆) 

G₆ 


G[♯]₆ (A[♭]₆) 


A₆ 


A[♯]₆ (B[♭]₆) 

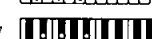
B₆ 


マイナー メジャー セブンス コード


CmM₇ 


C[♯]mM₇ (D[♭]mM₇) 


DmM₇ 


D[♯]mM₇ (E[♭]mM₇) 


EmM₇ 


FmM₇ 


F[♯]mM₇ (G[♭]mM₇) 

GmM₇ 


G[♯]mM₇ (A[♭]mM₇) 


AmM₇ 


A[♯]mM₇ * (B[♭]mM₇) 


BmM₇ * 

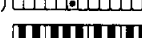
マイナー セブンス フラットテッド ファイブ コード


Cm₇⁻⁵ 


C[♯]m₇⁻⁵ (D[♭]m₇⁻⁵) 


Dm₇⁻⁵ 


D[♯]m₇⁻⁵ (E[♭]m₇⁻⁵) 


Em₇⁻⁵ 


Fm₇⁻⁵ 


F[♯]m₇⁻⁵ (G[♭]m₇⁻⁵) 

Gm₇⁻⁵ 


G[♯]m₇⁻⁵ (A[♭]m₇⁻⁵) 


Am₇⁻⁵ 


A[♯]m₇⁻⁵ (B[♭]m₇⁻⁵) 


Bm₇⁻⁵ * 

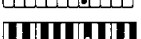
マイナー シックス コード


Cm₆ 


C[♯]m₆ (D[♭]m₆) 


Dm₆ 


D[♯]m₆ (E[♭]m₆) 


Em₆ 


Fm₆ 


F[♯]m₆ (G[♭]m₆) 

Gm₆ 


G[♯]m₆ (A[♭]m₆) 


Am₆ 


A[♯]m₆ (B[♭]m₆) 

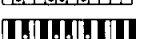
Bm₆ 


セブンス サスフォー コード


C₇SUS₄ 


C[♯]₇SUS₄ (D[♭]₇SUS₄) 


D₇SUS₄ 


D[♯]₇SUS₄ (E[♭]₇SUS₄) 


E₇SUS₄ 


F₇SUS₄ 


F[♯]₇SUS₄ (G[♭]₇SUS₄) 

G₇SUS₄ 


G[♯]₇SUS₄ (A[♭]₇SUS₄) 


A₇SUS₄ 


A[♯]₇SUS₄ (B[♭]₇SUS₄) 


B₇SUS₄ * 


セブンス フラット ファイブ コード


C₇⁻⁵ 


C[♯]₇⁻⁵ (D[♭]₇⁻⁵) 


D₇⁻⁵ 

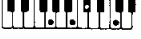
D[♯]₇⁻⁵ (E[♭]₇⁻⁵) 


E₇⁻⁵ 


F₇⁻⁵ 


F[♯]₇⁻⁵ (G[♭]₇⁻⁵) 

G₇⁻⁵ 

G[♯]₇⁻⁵ (A[♭]₇⁻⁵) 

A₇⁻⁵ 

A[♯]₇⁻⁵ (B[♭]₇⁻⁵) 

B₇⁻⁵ * 

打楽器の音を出してみましょう (ドラムパッド)

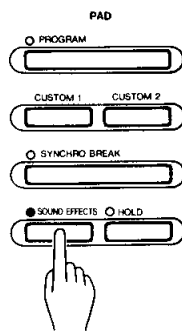
ドラムパッドを叩くだけで、打楽器音(40種類)や効果音(16種類)を鳴らすことができます。

サウンドエフェクト

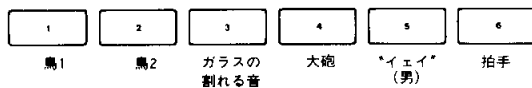
小鳥の鳴き声、クラクション、笑い声など16種類の効果音があります。

①パッドのサウンドエフェクトボタンを押して、ランプを点灯させます。

★電源投入時は、サウンドエフェクトがオンの状態になっています。



6個のドラムパッドには、6種類の効果音があらかじめプリセットされています。



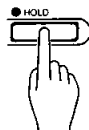
②リズムボリュームで音量を調節します。

③それぞれのパッドを叩いて、音を出します。

★リズムが鳴っている最中にパッドを押すと、場合によってパッドの音が短くなることがあります。

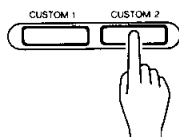
★ホールドボタンをオンにしてパッドを叩くと、その効果音はループしながら鳴ります。(ループとは繰り返すことです。)

ループのスピードは、リズムのテンポと同期します。



④スイッチオフ

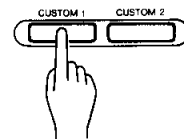
カスタム1、2のどちらかのボタンを押すと、サウンドエフェクトがオフになります。



マニュアルパーカッション

ドラムス(白鍵)とラテンパーカッション(黒鍵)を合わせて、40種類の打楽器の音を出せます。

①パッドのカスタム1、2のどちらかのボタンを押します。

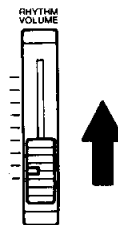


★カスタム1、2には、次の楽器音がプリセットされています。

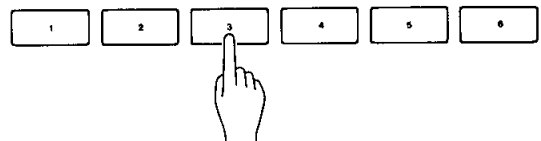
プリセット(内蔵)されている楽器音

カスタム1: リムショット、タム(低)、タム(中)、タム(高)、ハイハットクローズ、ハイハットオープン
 カスタム2: バスドラム、シンセタム(低)、シンセタム(中)、シンセタム(高)、スネア(ライト)、ライドシンバル

②リズムボリュームで音量を調節します。

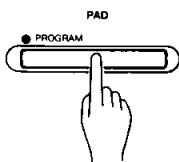


③それぞれのパッドを押して、音を出します。



♪ パッドの打楽器・効果音を入れ替えてみましょう。

①プログラムボタンを押してランプを点灯させます。



★この時点で鍵盤はキーボードパーカッションとなります。つまり鍵盤を押すことによって、パネル上にイラスト表示されている打楽器・効果音を鳴らすことができます。

②カスタム1、2のどちらかを選びます。

③鳴らしたい打楽器・効果音に対応する鍵盤を押しながら、入れ替えたい1～6のパッドを押します。

(この操作で、パッドに新たな打楽器・効果音が割り当てられます。必要に応じてこの操作を繰り返し、いろいろな打楽器・効果音を割り当ててみましょう。)

★複数の鍵盤を同時に押した場合は、最高音の鍵盤が優先されます。

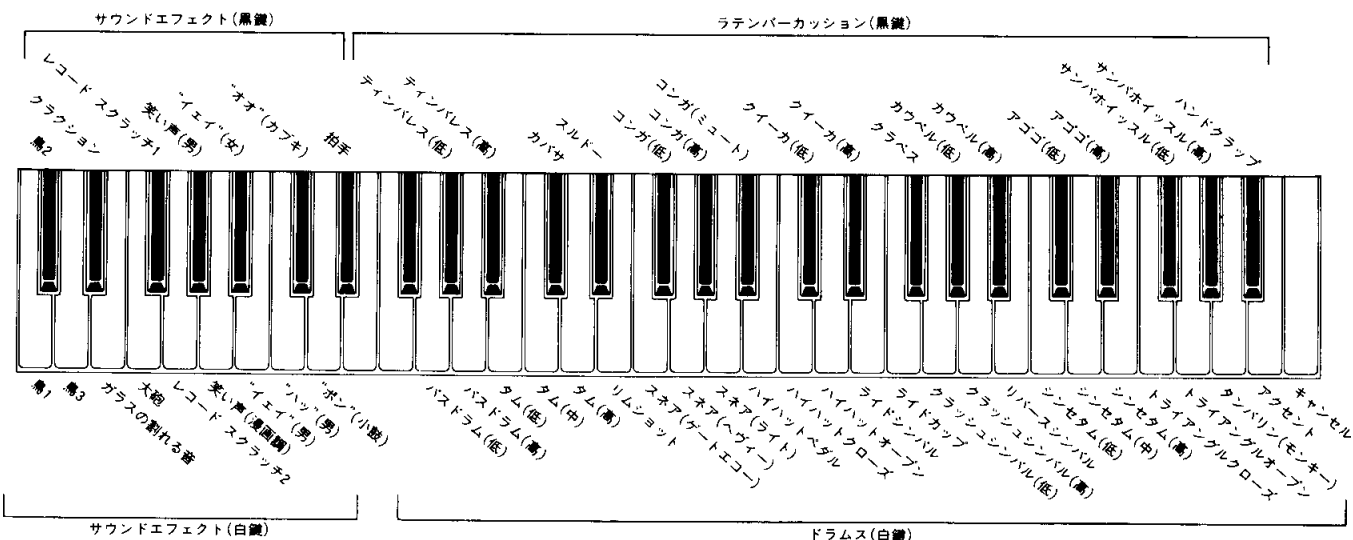
★プログラム中は、リズムをスタートさせることはできません。

★カスタム1、2には、ホールド機能は働きません。

★プログラムした内容は電源を切っても消えません。(記憶されている期間は約1週間です。)

④プログラムが完了したら、もう一度プログラムボタンを押してランプを消灯させてください。

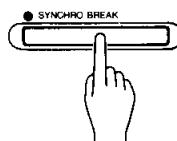
各鍵盤に、打楽器および効果音が次のように対応しています。



シンクロブ레이크

ドラムパッドを使って、自分でフィルインできる機能です。シンクロブ레이크オンの状態でドラムパッドを押すと、その小節の最後までリズムが停止していますので、ドラムパッドを使って自分でフィルインを演奏することができます。

★電源投入時は、シンクロブ레이크がオンの状態になっています。



★シンクロブ레이크は、サウンドエフェクトの時には機能しません。カスタム1、2に割り当てられた効果音に機能します。

★シンクロブ레이크は小節の頭にはかかりません。16分音符以降から機能します。

★シンクロブ레이크をオフにする時は、もう一度ボタンを押してランプを消灯させてください。

オリジナルのリズムパターンを つくりましょう (カスタムドラマー)

カスタムドラマー機能を使えば、リズムパートを好きな音色・パターンで入力し、自分だけのリズムパターンを3セット作ることができます。

プログラムの準備

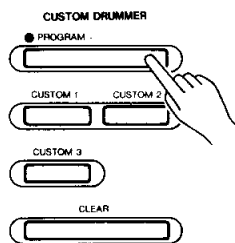
①基本にするリズムパターン(アカンパニメントスタイル)を選びます。

リズムを選択する時と同様、リズムを呼び出します。

★カスタム1~3を押して、作成済みのパターンを選ぶことができます。

②カスタムドラマーのプログラムボタンを押してランプを点灯させます。

自動的にリズムをプログラムできる状態となり、リズムが2小節単位で繰り返し鳴り出します。(5拍子のリズムの場合は1小節)



★ワルツ(3/4)で4拍子のパターン、12/8拍子で8ビートのパターンなど、各リズムで作れないパターンがあります。

★プログラムボタンを押した後シンクロスタートボタンを押すと、リズムが止まってシンクロスタート待ちの状態になります。鍵盤を押すか、またはスタートボタンを押すことにより、再びスタートします。

★プログラム中は、アカンパニメントスタイルおよびアカンパニメントバリエーションを変更することはできません。

③入力しやすいテンポにします。

リズムパターンの作成

①不要な打楽器音や効果音を消したい時は、キャンセル鍵盤(C6)を押しながら、パターンを変更したい打楽器音または効果音に対応する鍵盤を押します。

(該当する打楽器音または効果音が消えます。)

★元のリズムパターンの打楽器音や効果音を消さずに、追加したい音を重ねることもできます。

★リズムを最初から作りたい時はクリアボタンを押します。クリアボタンを押すと、全ての打楽器音と効果音が消えます。

★プログラムモード以外では、クリア機能は働きません。

②ビートランプで小節と拍子を確認しながら、打楽器や効果音に対応する鍵盤またはパッドを押して入力します。

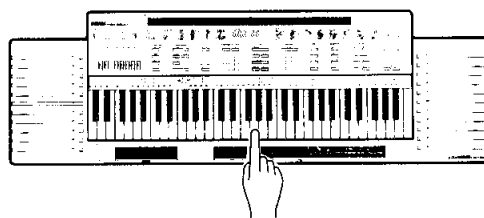
2小節をひとつのパターンとし、16分音符まで入力できます。ただし、5拍子のリズムでは1小節がひとつのパターンとなります。

★鳴っているリズムパターンの上からかぶせることができます。

★ひとつのリズムパターンに入力できる打楽器音および効果音の種類は、合計8種類までです。

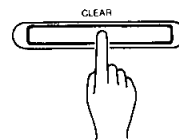
★16分音符の単位まで入力できます。それ以上細かく押しでも入力できません。

★メトロノーム音はプログラムされません。



オールクリア

全ての打楽器音と効果音を消して、リズムを最初から作りたい時は、クリアボタンを押します。するとリズムパターンが消えて、4分音符単位でハイハットクローズがメトロノーム音として鳴ります。



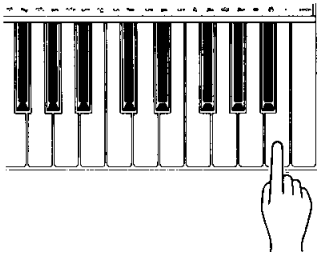
★キャンセル用鍵盤を押しながら、ハイハットクローズに対応する鍵盤を押すとメトロノーム音が消されますが、その後クリアボタンを押すと再びメトロノーム音が鳴り出します。

★オールクリア状態において、ハイハットクローズの打楽器パターンを入力する場合も、他の打楽器同様に対応する鍵盤で入力します。オールクリアの状態にしても、ハイハットクローズの音でメトロノーム音だけは鳴り続けますが、この状態から、キャンセル用鍵盤を押せば、メトロノーム音(ハイハットクローズ)も消えます。また、さらにキャンセル用鍵盤を押すと、入力されたハイハットクローズが消え、再びメトロノーム音が発音されます。

アクセントを付ける

必要に応じてアクセントを付けることができます。

- ①アクセントを付けたいところで>マークのアクセント鍵盤(B5)を押します。



- ★アクセントを付けたタイミングの全ての音が強拍になります。打楽器や効果音ごとに付けることはできません。
- ★アクセントを取り消したい場合は、キャンセル用鍵盤(C6)を押しながら、アクセント用鍵盤(>)を押します。

コード音色およびベース音色の変更

作成したリズムパターンでも、オートベースコード機能を組み合わせて使うことができますが、この時に鳴るベース音色とコード音色を好みのものに変更しておくことができます。プログラムモードでリズムを作成している時に、変更できます。(カスタム1~3それぞれに異なった音色を指定できます。)
★プログラム状態であれば、音色の変更はいつでもできます。

●ベース用音色の変更

ベース音の音色は、パネル上のボイスリストに記載されている100音色を選ぶことができます。テンキーボタンの[0]~[9]を押して指定してください。

●バックアップタイプのコード用音色の変更

- ①パートセレクトボタンを押してソロの状態にします。
- ②下の音色の中から音色を選びます。テンキーボタンの[0]~[9]を押して指定してください。

入力番号	音色	入力番号	音色
00	PIANO	12	JAZZ ORGAN
01	ELEC. PIANO 1	13	HUMAN VOX
02	ELEC. PIANO 2	14	CLASSIC GUITAR
03	HARPSICHORD	15	FOLK GUITAR
04	STRINGS	16	JAZZ GUITAR
05	TRUMPET	17	ROCK GUITAR
06	TROMBONE	18	DISTORTION GUITAR
07	BRASS ENSEMBLE	19	MUTE GUITAR
08	MARIMBA	20	BANJO
09	SYNTH BRASS 1	21	KOTO
10	SYNTH BRASS 2	22	VIBES
11	ROCK ORGAN		

●アルペジオタイプのコード用音色の変更

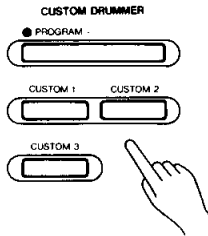
- ①パートセレクトボタンを押してオーケストラの状態にします。
- ②下の音色の中から音色を選びます。テンキーボタンの[0]~[9]を押して指定してください。

入力番号	音色	入力番号	音色
00	PIANO	13	HORN
01	ELEC. PIANO 1	14	BRASS ENSEMBLE
02	ELEC. PIANO 2	15	SYNTH BRASS
03	MARIMBA	16	ROCK ORGAN
04	VIBES	17	JAZZ ORGAN
05	STRINGS	18	FOLK GUITAR
06	VIOLIN	19	JAZZ GUITAR
07	HARP	20	ROCK GUITAR
08	FLUTE	21	BANJO
09	SAXOPHONE	22	CRYSTAL
10	ACCORDION	23	DISTORTION GUITAR
11	TRUMPET	24	HARMONICA
12	TROMBONE	25	CLAVI

セーブ

作成したリズムパターンを保存します。

- プログラムボタンオンの状態で、カスタム1~3のいずれかのボタンを押すと、そのカスタム番号のところに保存されます。



- ★前に保存してあったパターンは自動的に消されます。
- ★セーブが終わったら、プログラムモードを解除してください。
- ★電源をオフにしても、記憶された内容は消えません。(記憶されている期間は約1週間です。)

再生

保存したリズムパターンを呼び出します。

- ①リズムパターンを保存したカスタム番号のボタンを押します。
3桁LEDディスプレイが、カスタムアカンパニメントの表示になります。



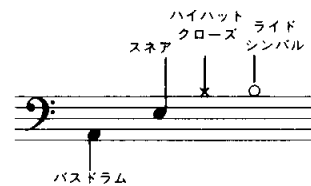
- ②スタートボタンを押して、リズムをスタートさせてみましょう。

- ★シンクロスタートボタンを押して、鍵盤を押さえると同時にリズムをスタートさせることもできます。
- ★カスタムドラマーでプログラムしたリズムパターンに対するイントロ/フィルイン1~3およびイントロ/エンディングでは、プログラムする前にセレクトされていた元のパターンのものになります。

カスタムリズムを入力してみましょう。

カスタムドラマーで、実際に簡単なリズムを作ってみましょう。

リズムの記譜のしかた



例1) 8ビート



例2) ディスコ



プログラムモードの解除

もう一度プログラムボタンを押すか、またはストップボタンを押すことにより、プログラム状態を解除できます。

演奏を録音してみましよう<ミュージックプログラマー>

ミュージックプログラマー機能を使えば、オーケストラパート、アカンパニメントパートの演奏を独立して記憶させることができます。また、両パートを同時に演奏して記憶させることもできます。そして、記憶させた両パートの演奏は同時に再生することができます。記憶領域は全部で2つ(2トラック)あります。なお、この2つのトラックには、それぞれレコードとプレイの2つのモードがあります。

各トラックの特徴

★各トラック共に、各パートに関するパネル上の設定(ボタン、スイッチ等の設定)もいっしょに記憶されます。

オーケストラ:

オーケストラパートの演奏を録音・再生できます。

アカンパニメント:

アカンパニメント(伴奏)パートの演奏を録音・再生できます。

標準的なレコーディング例

<詳しい操作方法は、本ページの右段をご覧ください。>

例/パート録音&パート再生

まず基本となるアカンパニメントパートを録音したら、それをモニターしながらオーケストラパートを録音します。

①伴奏パートを録音

アカンパニメントトラックに、自動伴奏を録音します。

②オーケストラ演奏の練習

①で録音した自動伴奏パートを再生させながら、オーケストラ音色でメロディー演奏の練習をします。

③オーケストラ演奏を録音

①で録音した自動伴奏パートを再生させながら、オーケストラトラックにオーケストラ音色でメロディー演奏を録音します。

④全パートを再生

2つのトラックに録音した演奏を一斉に再生させてみます。

両パート同時録音

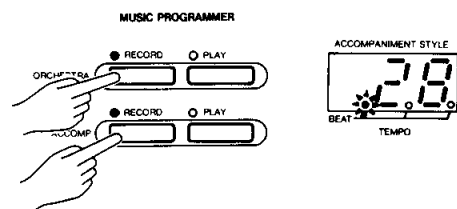
次に、両パートを同時に演奏して録音する方法を紹介します。演奏は、オートベースコード演奏の要領で行います。

①レジストレーションをセット

パネル上の設定を行います。なお、設定した内容をレジストレーションメモリーに記憶させておけば、録音の途中でパネルの設定変更が簡単にでき、大変便利です。

②オーケストラとアカンパニメントのレコードボタンを押して、ランプを点灯させます。

ハイハットクローズが4分音符単位でメトロノーム音として鳴り出し、テンポLEDの1拍目が点滅します。(シンクロナイズ状態になります。)また、自動的にシングルフィンガーの状態になります。この状態からフィンガードに変更することはできませんが、マニュアルベースやオフにすることはできません。



★3桁LEDには、メモリーの残量(最大08)が表示されます。

各トラックに同時に記憶できる発音数は下記のとおりです。

オーケストラ : 4音、後着優先。

アカンパニメント: オートベースコードのモードに準じる。

③録音を始めます。

次のいずれかの方法で、録音を開始します。

- ・鍵盤をどれかひとつ押す。
- ・スタートボタンを押す。
- ・イントロ/エンディングボタンを押す。
- ・イントロ/フィルイン1~3いずれかのボタンを押す。

★リズム音が鳴りますが、不必要な場合はリズムボリュームを最小にしてください。

★録音を開始すると、3桁LEDは小節数表示に変わります。

④必要に応じて、録音中にレジストレーションを変更できます。

レジストレーションは、録音中でも録音待機中でも変更することができます。

レジストレーションの変更には、一つ一つのボタンやスイッチの設定を変更する方法と、レジストレーションメモリーボタンを押す(記憶させた設定を呼び出す)方法の2つの方法があります。

★アカンパニメント(自動伴奏)の録音状態の時には、オートベースコードのモード切り替えも記憶されます。

★最初から録音をやり直したい時は、シンクロスタートボタンを押します。レコード待機状態になり、再び録音を始めることができます。イントロ/エンディングボタンを押すと、そのままエンディングパターンになり、録音が終了してしまいます。

⑤録音を終了します。

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して、録音を終了させます。

★また、次のいずれかの方法でも録音を解除できます。

- ・プレイボタンを押して、それに対応した録音を解除する。
- ・両方のレコードボタンを押す。
- ・どちらかのパートの記憶容量が一杯になった時は、自動的に録音が解除されます。

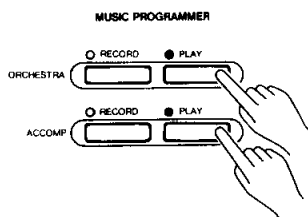
★これらの終了の方法は、両方のパートに共通です。

両パート同時再生

両方のプレイボタンを押して再生させます。

①オーケストラとアカンパニメントの両方のプレイボタンを押します。

録音済みのトラックのプレイボタンを押すと、テンポLEDの1拍目が点滅する(再生待機状態になる)と共に、記憶されているレジストレーションがパネル上に展開されます。



★再生中も、記憶されているレジストレーションがパネルに展開されます。

②再生を始めます。

次のいずれかの方法で、再生を開始させます。

- ・鍵盤をどれかひとつ押す。
- ・スタートボタンを押す。
- ・イントロ/エンディングボタンを押す。
- ・イントロ/フィルイン1~3のいずれかのボタンを押す。

★これらの開始の方法は、両方のパートに共通です。

★全パートを同時再生する場合は、基本的にはリズムのスタートボタンを押してください。

③必要に応じて、再生中にレジストレーションを変更できます。

レジストレーションは、再生中でも再生待機中でも変更することができます。録音時のレジストレーションと異なるレジストレーションで、演奏を再生することができます。レジストレーションの変更には、一つ一つのボタンやスイッチの設定を変更する方法と、レジストレーションメモリーボタンを押す(記憶させた設定を呼び出す)2つの方法があります。

★オーケストラ音色を、録音時の音色と変えて再生することはできません。

★アカンパニメント(自動伴奏)の再生状態の時には、オートベースコードのモード切り替えは無効です。

★片方のパートを再生させている最中に、もう一方のパートのプレイボタンを押すと、すでに再生中のパートに合わせてそこからもう一方も再生が開始されます。

追加されたパートは、追加した時点ではそれまでのレジストレーションに従いますが、記憶されているレジストレーションが途中で変わっている場合には、そこからそのレジストレーションに変更され、それに従い再生されます。

④再生を終了させます。

曲が終了すると、再生待機状態に戻ります。

なお再生待機状態は、次の方法で解除することができます。

- ・ストップボタンを押す。
- ・再生状態にあるパートのプレイボタンまたはレコードボタンを押す。

パート録音↔パート再生

まず、アカンパニメント(自動伴奏)を録音して、それからオーケストラを録音してみましょう。

①アカンパニメントのレコードボタンを押します。

アカンパニメントのレコードボタンを押すと、自動的にシングルフィンガーのモードになります。

この時、フィンガードに切り替えることはできますが、マニュアルベースやオフに切り替えることはできません。

②アカンパニメントを録音します。

録音の開始方法と終了方法は、両パート同時録音の場合と同じです。

③アカンパニメントのプレイボタンを押します。

④オーケストラのレコードボタンを押します。

⑤オーケストラパートを録音します。

録音の開始方法と終了方法は、両パート同時録音の場合と同じです。

⑥再生

アカンパニメントとオーケストラのプレイボタンを押して、再生の準備をします。再生の開始方法と停止方法は、全パート同時再生の場合と同じです。

実際に録音してみましょう!

33ページのレッツ・プレイの練習曲を演奏して、録音してみましょう。

まず最初は、パート別に録音。なれてきたら、両パート同時録音で録音してみましょう。

メモリーできる内容

●オーケストラ

オーケストラ音色、オーケストラボリューム、サスティン(1、2)、ピッチベンド、ロールバー(モジュレーション、マスターエクスプレッション)、デュエット

●アカンパニメント

シングルフィンガー/フィンガード、スタイルセレクト、バリエーションのオン/オフ、カスタム(1、2、3)、イントロ/フィルイン1~3、イントロ/エンディング、リズムボリューム、ベースボリューム、コードボリューム、サウンドエフェクト、シンクロブレイク、ホールド、ドラムパッド、テンポ、ロールバー(マスターエクスプレッションの時)、アンサンブルのオン/オフ

レッツ・プレイ

ご存じ、久保田利伸のナンバーです。

オートベースコードやカスタムドラマーを活用すれば、多彩なプレイが楽しめます。

ステップ1からステップ2まで、機能をフルに使って弾いてみましょう。

最初のパネルのセッティング

オートベースコード	スタイル	テンポ	ソロボイス	オーケストラボイス
シングルフィンガー	No.14(テクノロック1)	J = 100(ノーマル)	No.87(ベルファウンテン)	No.45(パワープラス)

ステップ1 シングルフィンガーで演奏します。

スタイル番号14のテクノロック1を呼び出し、譜面のコードネームを見て演奏していきます。

ステップ2 ミュージックプログラマーを使って原曲に近づけてみましょう。

ミュージックプログラマーの操作手順

- ①アカンパニメント
- ②オーケストラ(オブリガート)

From Style 22

コード

ベース

リズム

<Dance if you want it>

作詞：久保田利伸・川村真澄
作曲：久保田利伸・Rod Antoon

ソロ

オーケストラ

8 7 Bell Fountain

D.S. time Repeat

2 9 PAN Flute

4 5 Power Brass

Dance if you want it

Dance if you want it To- night

アイツをみは な-した- よる

まちかどにな が-れる- blue-sy Sax- o-phone- か めんのおとこがさ しだ-す-

グイ ヤの クル- ほ しあかり- め けだして- na na na na na na Hey- you- girl

み え な い も-の それがしん じ つ- み え る も の-は

8 7 Bell Fountain

うそなんてセリフ にあわない

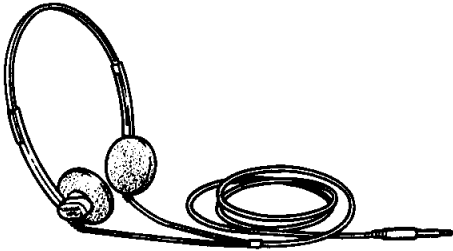
D.S.

coda

オプション(別売)のご紹介

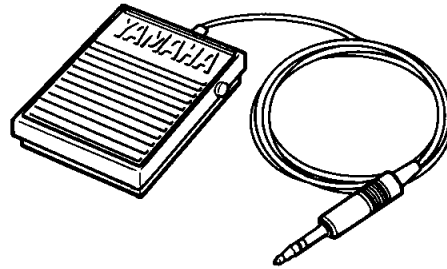
●ヘッドホン

HPE-5 ¥5,500
HPE-3 ¥3,000



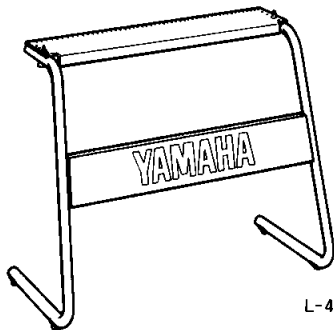
●フットスイッチ

FC-5 ¥1,500

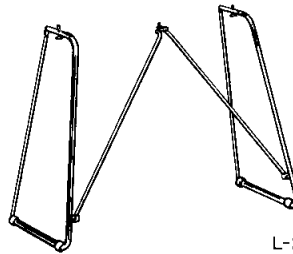


●スタンド

L-4 ¥9,000
L-2 ¥6,000



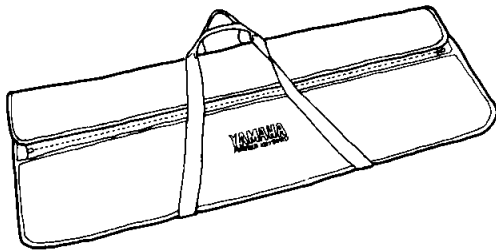
L-4



L-2

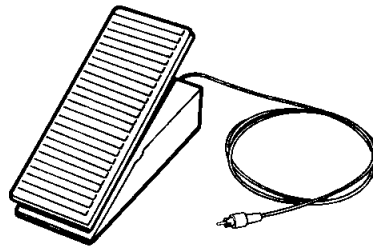
●ソフトケース

SCC-33 ¥6,000



●エクスペッション ペダル

EP-1 ¥2,400



・表示の価格には消費税は含まれていません。

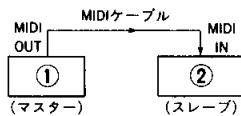
MIDI機能を活用すれば多彩なプレイが楽しめます。

MIDIとは

MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interface (ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス)の略で、和訳すると「楽器間デジタル通信」。つまり、電子楽器どうし(またはコンピュータ)がコミュニケーションをとり合い、お互いの演奏情報を交換しあうためのものです。そして、このMIDIは世界の電子楽器の統一規格。どのメーカーの機器でもMIDI端子が付いていれば、情報を交換することができるのです。

接続のしかた

その名のとおりにMIDI OUTは演奏情報の出力に、MIDI INは入力に使う端子です。例えば、①という楽器のMIDI OUTと②という楽器のMIDI INをMIDIケーブルで接続すると、①で演奏した内容が②に送られるわけです。この①の楽器を「マスター」(親機)、②の楽器を「スレーブ」(子機)と呼びます。



●操作①から②に移る時、MIDI ボタンは離さないでください。 ● + ボタンでオン、- ボタンでオフします。

MIDIモード

PSR-3500のMIDIには2つのモードがあります。

1. リモートコントロールモード

鍵盤のキーオン/オフ、音色、サステイン、ボリューム、ピッチベンド、各スイッチをそのまま送受信します。

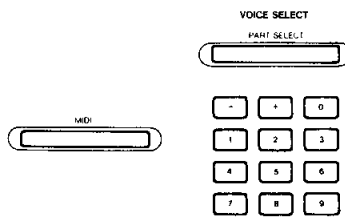
2. 標準音色モード

キーオン/オフは全て8フィートを基準とし、音色をポータトーン(標準音色)に合わせた番号で送受信します。

MIDI機能の設定方法

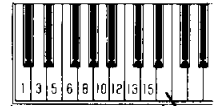
MIDI ボタン、ボイスセレクトボタン、および左端の17の鍵盤を使って、MIDIの各種機能の設定を行います。

各情報はLEDディスプレイに表示されます。



鍵盤でチャンネルの設定をします。

2 4 7 9 11 14 16



オムニオフ オムニオン(ALL)

MIDIの設定内容

MIDI ボタンを押しながらボイスセレクトの数字ボタンを押すと、それぞれ次の操作が可能になります。

数字ボタン 設定内容

- 0 → リモートコントロールモード/標準音色モードの切替
- 1 → MIDI送信チャンネルの設定
- 2 → MIDI受信チャンネルの設定、システムリアルタイムコマンドのオン/オフ切替
- 3 → スプリットセンドのオン/オフ切替
- 4 → プログラムチェンジとコントロールチェンジキャンセルのオン/オフ切替
- 5 → 外部クロック/内部クロックの切替
- 6 → ローカルコントロールのオン/オフ切替
- 7 → パネルデータの送信
- 8 → メモリーデータの送信
- 9 → リズム受信チャンネルの設定

設定項目	操作① ボイスセレクトボタンの数字ボタンを押しながら、 [0] ボタンを押しながら、	操作② [MIDI] ボタンを押しながら、	表示および設定範囲
0 リモートコントロールモード/標準音色モードの切替	ボイスセレクトボタンの [0] を押して指定する。 [0] を押すたびにモードが変わります。		リモートコントロールモード 標準音色モード RC []、L []
1 MIDI送信チャンネルの設定	ボイスセレクトボタンの [1] を押す。	該当するオートベースコード用鍵盤を押して指定する。	チャンネル1 チャンネル16 5 [] ~ 5 16 []
2-(1) MIDI受信チャンネルの設定	ボイスセレクトボタンの [2] を押す。	該当するオートベースコード用鍵盤を押して指定する。	オムニオン+チャンネル1 オムニオフ+チャンネル1 オムニオフ+チャンネル16 r 1 []、r 1 [] ~ r 16 []
現在、標準音色モードの場合……			
操作③: 操作②で指定したチャンネルのオン/オフを、[MIDI] ボタンを押しながら、ボイスセレクトボタン [] / [] で指定する。 オン(受信させる) オフ(受信させない) r 1 on、r 1 of			
2-(2) システムリアルタイムコマンドのオン/オフ切替(標準音色モード時のみ設定可能)	ボイスセレクトボタンの [2] を押す。	オートベースコード用鍵盤のE2を押して、FAの文字を表示させる。	操作④: 操作②③を繰り返して、チャンネルごとに指定する。 操作③: [MIDI] ボタンを押しながら、ボイスセレクトボタンの [] / [] で指定する。 on(受信させる) オフ(受信させない) FA on、FA of
3 スプリットセンドのオン/オフ切替(リモートコントロールモード時のみ設定可能)	ボイスセレクトボタンの [3] を押す。	ボイスセレクトボタンの [+]/[-] を押して指定する。	オン オフ SPL on、SPL of
4 プログラムチェンジとコントロールチェンジキャンセルのオン/オフ切替	ボイスセレクトボタンの [4] を押す。	ボイスセレクトボタンの [+]/[-] を押して指定する。	オン オフ Pcc on、Pcc of
5 外部クロック/内部クロックの切替	ボイスセレクトボタンの [5] を押す。	ボイスセレクトボタンの [+]/[-] を押して指定する。	外部クロック 内部クロック CL E、CL I
6 ローカルコントロールのオン/オフ切替(リモートコントロール時のみ設定可能)	ボイスセレクトボタンの [6] を押す。	ボイスセレクトボタンの [+]/[-] を押して指定する。	オン オフ LOC on、LOC of
7 パネルデータの送信	ボイスセレクトボタンの [7] を押して送信開始。		送信中 - - - []
8 メモリーデータの送信	ボイスセレクトボタンの [8] を押して送信開始。		送信中 - - - []
9 リズム受信チャンネルの設定(標準音色モード時のみ設定可能)	ボイスセレクトボタンの [9] を押す。	該当するオートベースコード用鍵盤を押して指定する。	チャンネル1 チャンネル16 1 [] ~ 16 []

0 リモートコントロールモード/標準音色モードの切替

リモートコントロールモードは、本機を送信側に接続してマスターキーボードとして使用することを前提としたモードです。通常はこのモードにしておきます。

標準音色モードは、本機を受信側に接続して音源として使用することを前提としたモードです。このモードにすると、同時に複数のチャンネルの情報を受信できるようになります。例えば、MIDIシーケンサーに記録されている複数のチャンネルの演奏情報を本機に受信させ、同時に複数の音色で鳴らしたい時に、標準音色モードにします。

★パワースイッチをオンにした時は、リモートコントロールモードになっています。

★標準音色モードにした場合は、本機の鍵盤を弾いても本機で音は鳴りません。

1 MIDI送信チャンネルの設定

本機をマスター(送信側)として使う場合は、MIDI送信チャンネルの指定が必要です。スレーブ(受信側)の機器のMIDI受信チャンネルと一致させます。

★パワースイッチをオンにした時は、送信チャンネルはチャンネル1になっています。

2-(1) MIDI受信チャンネルの設定

本機をスレーブ(受信側)として使う場合は、MIDI受信チャンネルの指定が必要です。マスター(送信側)の機器のMIDI送信チャンネルと一致させます。

★パワースイッチをオンにした時は、受信チャンネルはオムニオフ+チャンネル1になっています。

★オムニオンはチャンネル設定に関係なく、どのチャンネルのメッセージでも受信できる状態で、オムニオフは指定したチャンネルの情報だけを受信できる状態です。

2-(2) システムリアルタイムコマンドのオン/オフ切替(標準音色モード時のみ設定可能)

本機を標準音色モードにしてスレーブ(受信側)で使う場合に、システムリアルタイムコマンドを受信できる状態(オン)にするか、受信できない状態(オフ)にするかを、選択できます。

システムリアルタイムコマンドには、\$FA(スタート)と\$FC(ストップ)のメッセージがあります。

★リモートコントロールモードにした場合には、この機能は存在しません。(オンの状態のままです。)

★パワースイッチをオンにした時は、受信できない(オフ)状態になっています。

★システムリアルタイムコマンドは、MIDIチャンネルに関係なく送受信されます。

3 スプリットセンドのオン/オフ切替

(リモートコントロールモード時のみ設定可能)

シングルフィンガー、フィンガード、スプリット状態の時に、スプリットセンドオンの状態にすると、低音側と高音側の演奏情報が異なったチャンネル番号で送信されるようになります。

つまり低音側と高音側の音を、外部機器側で異なった音色で鳴らしたい場合には、スプリットオンの状態にします。

★標準音色モードにした場合には、この機能は存在しません。

★低音側の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信されますので、外部機器のMIDI受信チャンネルを2に合わせてください。

また、高音側の演奏情報は"1 MIDI送信チャンネルの設定"のところ指定したMIDIチャンネルで送信されます。

★低音側と高音側の演奏情報をMIDIシーケンサーに別々のチャンネルで記録することもできます。

★本機を受信側にした場合は、この機能は関係ありません。

★パワースイッチをオンにした時は、スプリットセンドオフになっています。

4 プログラムチェンジとコントロールチェンジキャンセルのオン/オフ切替

オンにすると、本機で音色を切り替えたり、演奏音の音量を調節したり、サステインをオン/オフしても、MIDI OUT端子へこれらの情報を出しなくなります。また、MIDI IN端子からこれらの情報を受けても本機の状態は変化しなくなります。すなわち、本機だけで単独に操作したい場合には、オンにしてください。

★パワースイッチをオンにした時は、キャンセルオフになっています。

5 外部クロック/内部クロックの切替

本機のリズムを制御するクロックを選択できます。内部クロックにすると、外部機器に左右されず、本機自身のテンポにしたがってリズムが鳴り、外部クロックにすると、外部機器から送られてくるテンポにしたがってリズムが鳴ります。

★パワースイッチをオンにした時は、内部クロックになっています。

6 ローカルコントロールのオン/オフ切替

(リモートコントロールモード時のみ設定可能)

オフにすると、本機で演奏したにもかかわらず本機自身では鳴らなくなります。ただし、MIDI OUT端子からは、ローカルオン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。

すなわち、ローカルコントロールオフは、外部の楽器だけで鳴らしたい場合に、本機で音が出ないようにするためのものです。

★本機を受信側にした場合は、この設定は関係ありません。

★標準音色モードにした場合には、この機能は存在しません。(オフの状態と同じになります。)

★パワースイッチをオンにした時は、ローカルコントロールオンになっています。

7 パネルデータの送信

現在のパネルのセッティング状態(レジストレーション)を送信する機能です。

★送信は瞬時に完了します。

8 メモリーデータの送信

以下のメモリー内容を送信する機能です。

- レジストレーションメモリーへ記憶させたパネル設定データ(2セット)
- カスタムドラマーへ記憶させたオリジナルのリズムパターン(3セット)
- ドラムパッドへ割り付けた音色(2セット)
- ミュージックプログラマーに記憶させた演奏データ(1セット)

★送信中は3桁ディスプレイが"---"表示となり、送信が終了すると元の表示に戻ります。

★送信中はパネル操作できません。

9 リズム受信チャンネルの設定

(標準音色モード時のみ設定可能)

リズム音(打楽器音)の発音情報に対する受信チャンネルを設定できます。送信側のチャンネルと一致させてください。(前述の"2-(1) MIDI受信チャンネルの設定"はリズム以外のパートに対するものです。)

★リモートコントロールモードにした場合には、この機能は存在しません。

★ここで指定したチャンネルと、リズムパート以外のチャンネルが重複した場合は、リズムの受信チャンネルが優先されます。

★パワースイッチをオンにした時は、チャンネル16になっています。

MIDIエラー表示

MIDI受信の際、送受信間のトラブルのために正確に情報がやりとりされなかったり、送受信バッファの容量を超えるデータが生じた場合は、LEDディスプレイにMIDIエラーを意味する文字が表示されます。

この表示になった場合は、パワースイッチを一度オフにしてから再びオンにし、再実行してください。

ただし、送受信バッファの容量オーバーによるエラーの場合は、あらかじめデータをいくつか分割するなどしてください。



MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル 電源ON時 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル	1チャンネル 1~16チャンネル	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 オムニ・オン、オムニ・オフ ×	リモートコントロールモード
ノート ナンバー 音域	36~96 *****	36~96 ※1 36~96 ※2	
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	× 9nH、v=80 × 9nH、v=0	○ v=1~127 ×	
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンダー	○	○ 0~2 semi	7ビット分解能
01	○	○	モジュレーション
07	○	○	ボリューム
コントロール チェンジ 64	○	○	サスティン
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0~99 *****	○ 0~99 ※3 0~99	
エクスクルーシブ	○	○	
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他 ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×	○ ○ (122~125) ○ ×	
備 考	※1 標準音色モードの場合は1~127 ※2 標準音色モードの場合は24~102 ※3 標準音色モードの場合は0~126		

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ ○：あり
 モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ ×：なし

故障と誤りやすい現象

現 象	原 因	解 決 法
パワースイッチをオンまたはオフにした時に、“ポツン”と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
ソロボイスをオンにしても、低音鍵盤部でソロ音色が発音されない。	トゥーローワーがオンになっているため。	トゥーローワーを解除してください。
デュエットの音が出ない。	オートベースコードを使用していない。	13ページ参照。
オーケストラ音が出ない。	オーケストラボリュームが最小になっている。	オーケストラボリュームを上げてください。
	オーケストレーションのオーケストラボタンが押されていない。	オーケストラボタンを押してください。
リズム音が出ない。	スタートボタンを押していない。	18、19ページの説明を読んで操作もれがないかを確認してください。
	シンクロスタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤を押していない。	
	リズムボリュームが最小になっている。	
オートベースコードの音が出ない。または、リズムにのらない。	オートベースコードがオフになっている。	20、21ページの説明を読んで操作もれがないかを確認してください。
	マニュアルベースにセットしている。	
	ベースとコードのボリュームが最小になっている。	
	オートベースコード用鍵盤を押さえていない。	
オートベースコードで伴奏している時、コードを変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤部で、指を離さないうちに次のコードにしようとしている。	コードを変える時は、鍵盤から完全に指を離したうえで次のコードを押さえてください。
レジストレーションメモリーに記憶させたセッティングと違う。	メモリーできない機能もあります。	16ページ参照。
ピッチベンドローラーを回転させてもピッチが変わらない。	ピッチベンドローラーは次のものには作用しません。 ・オートベースコード ・ミュージックプログラマー ・サウンドエフェクト	17ページ参照。
カスタムドラマーでプログラムしても、弾いた通りに記憶されない。	鍵盤を細かく弾きすぎたため。	16分音符まで入力できます。
	クリアボタンを押さないで、プリセットパターンに重ねたため。	クリアボタンを押して、自分で弾いたパターンのみを記憶させます。
	2小節以上入力して、前のパターンに重ねてしまったため。	パターン(2小節)を確認して入力し直してください。
ミュージックプログラマーに記憶されない機能がある。	記憶できない機能があります。	30ページ参照。
サステインがかからない。	別売のフットスイッチが接続されており、それがオフになっている。	フットスイッチを外すか、フットスイッチを踏んでオンにしてください。
音色番号を切り替えても音色が替わらない。	パートセレクトの選択がオーケストレーションで選んでいるパートと異なっているため。	パートセレクトの選択をオーケストレーションで選んでいるパートに合わせてください。

- 鍵盤数
一段鍵盤61鍵(C1-C6)
- ボイス(100音色)
- 00 ピアノ1
- 01 ピアノ2
- 02 ホンキートンクピアノ
- 03 エレクトリックピアノ1
- 04 エレクトリックピアノ2
- 05 ハープシコード
- 06 クラビ
- 07 チェレスタ
- 08 トーイピアノ
- 09 バイブス
- 10 グロッケン
- 11 チャイム
- 12 シロフォン
- 13 マリンバ
- 14 バンブーマリンバ
- 15 ティンパニ
- 16 スチールドラム
- 17 カリンバ
- 18 ガメラン
- 19 ミュージックボックス
- 20 スtrings1
- 21 スtrings2
- 22 ピチカートString
- 23 シンセString1
- 24 シンセString2
- 25 バイオリン
- 26 チェロ
- 27 ハープ
- 28 フルート
- 29 バンフルート
- 30 リコーダー
- 31 クラリネット
- 32 オーボエ
- 33 バスーン
- 34 サキソフォーン1
- 35 サキソフォーン2
- 36 ハーモニカ
- 37 アコーデオンの
- 38 バグパイプ
- 39 トランペット
- 40 ミュートトランペット
- 41 トロンボーン
- 42 ホルン
- 43 チューバ
- 44 プラスアンサンブル
- 45 パワーブラス
- 46 シンセブラス1
- 47 シンセブラス2
- 48 バイブオルガン
- 49 ジャズオルガン
- 50 ロックオルガン
- 51 ストリートオルガン
- 52 ヒューマンボックス
- 53 ハスキー
- 54 ホイッスル
- 55 クラシックギター
- 56 フォークギター
- 57 ジャズギター
- 58 ロックギター
- 59 ディストーションギター
- 60 ミュートギター
- 61 バンジョー
- 62 マンドリン
- 63 シタール
- 64 琴
- 65 三味線
- 66 アコースティックベース
- 67 ボーベース
- 68 エレクトリックベース1
- 69 エレクトリックベース2
- 70 スラップベース
- 71 フレットレスベース
- 72 シンセベース1
- 73 シンセベース2
- 74 シンセベース3
- 75 ホーローシンセ
- 76 ソフトクラウド
- 77 夜明け
- 78 日光
- 79 アラベスク
- 80 アクア
- 81 ランドスケープ
- 82 メタリック

- 83 水晶
- 84 氷塊
- 85 グラスベル
- 86 シンセベル
- 87 ベルファウンテン
- 88 黒
- 89 シンセリンバ
- 90 アフリカンパーカッション
- 91 アフターバーナー
- 92 ファニー
- 93 怪物
- 94 ハハハ!
- 95 緊急
- 96 レーシングサーキット
- 97 嵐
- 98 波
- 99 オーケストラヒット
- アカンパニメントスタイル
(100スタイル)
- 00 ディスコ1
- 01 ディスコ2
- 02 ポップロック1
- 03 ポップロック2
- 04 8ビート1
- 05 8ビート2
- 06 16ビート1
- 07 16ビート2
- 08 ロックンロール1
- 09 ロックンロール2
- 10 プラスロック
- 11 クリスマスロック
- 12 オリエンタルロック
- 13 ロックパロック
- 14 テクノロック1
- 15 テクノロック2
- 16 ハードロック
- 17 ヘビメタル
- 18 スピードメタル
- 19 コンテンポラリーソウル
- 20 フュージョン1
- 21 フュージョン2
- 22 ファンク1
- 23 ファンク2
- 24 ファンク3
- 25 ラップ
- 26 ロックシャッフル
- 27 ユーロビート1
- 28 ユーロビート2
- 29 ゴスペル
- 30 リズム&ブルース1
- 31 リズム&ブルース2
- 32 スローブルース
- 33 ビッグバンド1
- 34 ビッグバンド2
- 35 モダンジャズ
- 36 5/4スウィング
- 37 ジャズバラード
- 38 ジャズパロック
- 39 スウィングギター
- 40 スウィングピアノ
- 41 16ビートパワンス
- 42 スローロック
- 43 ポップバラード
- 44 パロック
- 45 シャッフル
- 46 ブギウギピアノ1
- 47 ブギウギピアノ2
- 48 ブギビッグバンド1
- 49 ブギビッグバンド2
- 50 テキシランドコンボ
- 51 テキシランドバンジョー
- 52 カントリー
- 53 カントリーピアノ
- 54 カントリースチールギター
- 55 ラグタイムピアノ
- 56 ブルーグラス
- 57 メレンゲ
- 58 タンゴ
- 59 ハバネラ
- 60 レゲエ1
- 61 レゲエ2
- 62 サルサ1
- 63 サルサ2
- 64 カリブソ
- 65 コンガ
- 66 キューバン

- 67 チャチャチャ
- 68 マリアッチ
- 69 ボレロ
- 70 フラメンコ
- 71 アルゼンチンfolkローレ
- 72 アイランドfolkローレ
- 73 サンアフロ
- 74 ビギン
- 75 ルンバ
- 76 マンボ1
- 77 マンボ2
- 78 サンバ1
- 79 サンバ2
- 80 ボサノバ1
- 81 ボサノバ2
- 82 ハワイアン
- 83 シャンソン
- 84 音頭
- 85 演歌
- 86 マーチ1
- 87 マーチ2
- 88 ポルカ
- 89 ファンファーレ
- 90 ウイーンワルツ
- 91 ビッグバンド(ワルツ)
- 92 パロック(ワルツ)
- 93 ジャズワルツ
- 94 ララバイ
- 95 クラシカルギター
- 96 ストリートオルガン
- 97 マンドリンバンド
- 98 ストリングカルテット
- 99 パーバーストップカルテット
- ボイスセレクト
パートセレクト、+、-、0~9キー
- アカンパニメントスタイルセレクト
テンポ(▲、▼)、アカンパニメント
バリエーション、+、-、0~9キー
- ドラムパッド
(効果音)
鳥1、鳥2、鳥3、クラクション、ガラス
の割れる音、大砲、レコードスクラ
ッチ1、レコードスクラッチ2、笑い
声(男)、笑い声(漫画調)、“イエイ”
(女)、“イエイ”(男)、“ハッ”(男)、
“オオ”(歌舞伎)、“ボン”(小鼓)、
拍手
(打楽器)
バズドラム(低)、ティンパレス(低)、
バズドラム(高)、ティンパレス(高)、
タム(低)、タム(中)、カバサ、タム
(高)、スルドー、リムショット、
スネア(ゲートエコー)、コンガ(低)、
スネア(ヘヴィー)、コンガ(高)、
スネア(ライト)、コンガ(ミュート)、
ハイハットペダル、ハイハットクロ
ーズ、クイーカ(低)、ハイハットオ
ーブン、クイーカ(高)、ライドシン
バル、ライドカップ、クラベス、
クラッシュシンバル(低)、カウベル
(低)、クラッシュシンバル(高)、
カウベル(高)、リバースシンバル、
シンセタム(低)、アゴゴ(低)、シンセ
タム(中)、アゴゴ(高)、シンセタム
(高)、トライアングルローズ、
サンバホイッスル(低)、トライア
ングルオープン、サンバホイッスル(高)、
タンバリン(モンキー)、手拍子
アクセント(>)用鍵盤、キャンセル
用鍵盤
- パッド
プログラム、シンクロブレイク、
サウンドエフェクト、ホールド、
カスタム1、2、ドラムパッド1~6
- オーケストレーション
ソロ、オーケストラ、トゥーロー、
デュアルボイス、ソロポリューム、
オーケストラポリューム
- エフェクト
サステイン1、2、アンサンブル、
デュエット、
- ソロスタイルプレイ

- リズムコントロール
スタート、ストップ、シンクロスタ
ート、イントロ/エンディング、
イントロ/フィルイン1、2、3、
リズムポリューム
- オートベースコード
マニュアルベース、フィンガード、
シングルフィンガー、オフ、ベース
ポリューム、コードポリューム
- カスタムドラマー
プログラム、カスタム1~3、
クリア
- ミュージックプログラマー
レコード(オーケストラ、アカンパニメ
ント)、プレイ(オーケストラ、アカンパ
ニメント)
- レジストレーションメモリー
メモリー、1、2、
- ロールバー
モジュレーション、
マスターエクスプレッション
- ピッチベンドローラー
- ピッチ(▲、▼)
- トランスポーズ(▲、▼)
- その他のコントロール
パワースイッチ、マスターポリューム、
3桁+2桁LEDディスプレイ、MIDI、
デモンストレーション
- 外部端子
HEADPHONES、AUX、OUT(R/L+R)、
EXP、PEDAL、DC IN(9-12V)、
サステイン、MIDI(IN、OUT)
- アンフ
5W×2
- スピーカー
12cm×2
- 定格電源
DC 9V：電源アダプター・PA-4、
単1乾電池6本
- 消費電力
ACアダプター使用時：17W
乾電池使用時：7W
(乾電池寿命：通常演奏で約3.5時間)
- 外装仕上げ
スチロール樹脂、アクリルラッカー塗装
- 寸法(前面立て取り外し時)
(開口)1221mm×(奥行)392.4mm×
(高さ)145.6mm
- 重量
8.4kg(乾電池重量含まず)
- 付属品
電源アダプター・PA-4、譜面立て

MIDIデータフォーマット

● SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE

1) Bulk Dump Request

11110000 F0H STATUS
 01000011 43H YAMAHA ID
 0010nnnn 2nH SUBSTATUS/CH n=local device no.
 00001010 0AH FORMAT NO.
 11110111 F7H EOX

2) Bulk Dump Data

11110000 F0H STATUS
 01000011 43H YAMAHA ID
 0000nnnn 0nH SUBSTATUS/CH n=local device no.
 00001010 0AH FORMAT NO.
 0nnnnnnn nn BYTE COUNT MSB
 0nnnnnnn nn BYTE COUNT LSB
 01010000 50H Header P
 01001011 4BH K
 00100000 20H space
 00100000 20H space
 00110010 32H 2
 00110001 31H 1
 00110010 32H 2
 00110010 31H 1
 00100000 20H space
 0nnnnnnn nn DATA NO.
 0ddddd dd
 : DATA
 0ddddd dd
 0sssssss ss CHECKSUM
 11110111 F7H EOX

DATA NO.

00H REGISTRATION MEMORY
 01H CUSTOM RHYTHM
 02H MUSIC PROGRAMMER INDEX
 03H TRACK 1
 :
 0nH TRACK n-2

3) Panel Data Request

11110000 F0H STATUS
 01000011 43H YAMAHA ID
 0010nnnn 2nH SUBSTATUS/CH n=local device no.
 01111100 7CH FORMAT NO.
 11110111 F7H EOX

4) Panel Data Transmission

11110000 F0H STATUS
 01000011 43H YAMAHA ID
 0000nnnn 0nH SUBSTATUS/CH n=local device no.
 01111100 7CH FORMAT NO.
 0nnnnnnn nn BYTE COUNT MSB
 0nnnnnnn nn BYTE COUNT LSB
 01010000 50H Header P
 01001011 4BH K
 00100000 20H space
 00100000 20H space
 00110010 32H 2
 00110001 31H 1
 00110010 32H 2
 00110010 31H 1
 00100000 20H space
 00100000 20H space

0vvvvvvv vv Software version number.
 0rrrrrrr rr Software revision number.
 0ddddd dd
 : DATA
 0ddddd dd
 0sssssss ss CHECKSUM
 11110111 F7H EOX

5) Name Data Request

11110000 F0H STATUS
 01000011 43H YAMAHA ID
 0010nnnn 2nH SUBSTATUS/CH n=local device no.
 01111101 7DH FORMAT NO.
 11110111 F7H EOX

6) Name Data Transmission

11110000 F0H STATUS
 01000011 43H YAMAHA ID
 0000nnnn 0nH SUBSTATUS/CH n=local device no.
 01111101 7DH FORMAT NO.
 0nnnnnnn nn BYTE COUNT MSB
 0nnnnnnn nn BYTE COUNT LSB
 01010000 50H Header P
 01001011 4BH K
 00100000 20H space
 00100000 20H space
 00110010 32H 2
 00110001 31H 1
 00110010 32H 2
 00110010 31H 1
 00100000 20H space
 00100000 20H space
 0vvvvvvv vv Software version number.
 0rrrrrrr rr Software revision number.
 0ccccc cc CONDITION DATA
 0ccccc cc //
 0ccccc cc //
 0ccccc cc //
 0sssssss ss CHECKSUM
 11110111 F7H EOX

7) Standard Voice Mode/Remote Control Mode SWITCH

- a) Remote Control Mode
 F0H, 43H, 76H, 05H, 00H, F7H
- b) Standard Voice Mode
 F0H, 43H, 76H, 05H, 01H, F7H

8) Clock Mode Switch

- a) Internal Mode
 F0H, 43H, 73H, 01H, 02H, F7H
- b) External Mode
 F0H, 43H, 73H, 01H, 03H, F7H

9) Program/Control Change Cancel ON

F0H, 43H, 73H, 01H, 10H, F7H

● MIDI EXTENDED CONTROL CHANGE

1) Format

F0h, 43H, 76H, 04H, gnH, ccH, ddH, F7H
(n=local device no.)

2) DATA

g	cc	dd	PARAMETER	FUNCTION
0	00h	0~99	STYLE NO.	STYLE
	01h	00h 01h 02h 03h	OFF S/F F/C M/B	ABC
	02h	0 1	VARI. OFF VARI. ON	ABC VARIATION
	03h	00h 01h 02h 04h	OFF FILL1 ON FILL2 ON FILL3 ON	FILL IN
	04h	0	INTRO./ENDING ON EVENT	INTRO./ENDING
	05h	0	S.S ON EVENT	SYNCR. START
	06h	0~127	TEMPO VALUE	TEMPO SPEED
	07h	36~64	SPLIT POINT	SPLIT
	08h	7Ah } 7Fh 0 1 } 6	-6 } -1 0 +1 } +6	TRANPOSE
	09h	0~99	SOLO VOICE NO.	SOLO VOICE
	0Ah	0~99	BASS VOICE NO.	BASS VOICE
	0Bh	0 1 2 3 4 5 6 7	ORC OFF ORC ON SOLO OFF SOLO ON TO LOWER OFF TO LOWER ON DUAL VOICE OFF DUAL VOICE ON	ORCHESTRATION
	0Ch	0 1	SOLO STYLEP OFF SOLO STYLEP ON	SOLO STYLE PLAY
	0Dh	0 1 2 3	ENSEMBLE OFF ENSEMBLE ON DUET OFF DUET ON	EFFECT
	10h	0 1	MODULATION MAST. EXPRESSION	ROLL BAR

g	cc	dd	PARAMETER	FUNCTION
0	11h	0 1	REGISTRATION 1 REGISTRATION 2	REGISTRATION MEMORY
		12h	0 1 2 3 4 5 6	SOUND EFFECTS CUSTOM 1 CUSTOM 2 HOLD OFF HOLD ON SYNCR BREAK OFF SYNCR BREAK ON
	13h	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	PAD1 OFF PAD1 ON PAD2 OFF PAD2 ON PAD3 OFF PAD3 ON PAD4 OFF PAD4 ON PAD5 OFF PAD5 ON PAD6 OFF PAD6 ON	PAD ON/OFF
	14h	0 1 2	CUSTOM 1 CUSTOM 2 CUSTOM 3	CUSTOM ACCOMPANI- MENT
	15h	0 1 2 3	ORC. REC ORC. PLAY ACCOMP. REC ACCOMP. PLAY	MUSIC PROGRAMER
	16h	0~127	SOLO VOLUME	SOLO VOLUME
	17h	0~127	CHORD VOLUME	CHORD VOLUME
	18h	0~127	BASS VOLUME	BASS VOLUME
	19h	0~127	RHYTHM VOLUME	RHYTHM VOLUME
	1Bh	0~127	ROLL BAR VALUE	ROLL BAR VALUE

● STANDARD VOICE MODE OUTPUT VOICE NUMBER CHART

PSR-3500		MIDI OUT	
NO.	VOICE	NO.	VOICE
00	PIANO 1	03	PIANO 1
01	PIANO 2	52	PIANO 2
02	HONKY-TONK PIANO	25	HONKY-TONK PIANO
03	E. PIANO 1	05	ELECTRIC PIANO 1
04	E. PIANO 2	54	ELECTRIC PIANO 2
05	HARPSICHORD	04	HARPSICHORD 1
06	CLAVI	30	FUNKY CLAVI
07	CELESTA	06	CELESTA
08	TOY PIANO	26	TOY PIANO
09	VIBES	07	VIBRAPHONE
10	GLOCKEN	32	GLOCKENSPIEL
11	CHIMES	64	CARILLON
12	XYLOPHONE	59	XYLOPHONE
13	MARIMBA	08	MARIMBA
14	BAMBOO MARIMBA	65	PIZZICATO VIOLIN
15	TIMPANI	66	TIMPANI
16	STEEL DRUM	09	STEEL DRUM
17	KALIMBA	61	KALIMBA
18	GAMELAN	62	TUBULA BELLS
19	MUSIC BOX	24	MUSIC BOX
20	STRINGS 1	41	STRINGS 1
21	STRINGS 2	50	STRINGS 2
22	PIZZ. STRINGS	78	PIZZICATO STRINGS
23	SYNTH STRINGS 1	51	SYNTH STRINGS
24	SYNTH STRINGS 2	67	VIOLIN 2
25	VIOLIN	10	VIOLIN 1
26	CELLO	11	CELLO
27	HARP	37	HARP
28	FLUTE	20	FLUTE
29	PAN FLUTE	47	PAN FLUTE
30	RECORDER	88	RECORDER
31	CLARINET	19	CLARINET
32	OBOE	21	OBOE
33	BASSON	97	KAZOO
34	SAXOPHONE 1	18	SAX
35	SAXOPHONE 2	42	ALPENHORN
36	HARMONICA	22	HARMONICA
37	ACCORDION	31	ACCORDION
38	BAGPIPE	43	BAGPIPE
39	TRUMPET	15	TRUMPET
40	MUTE TRUMPET	44	MUTE TRUMPET
41	TROMBONE	16	TROMBONE
42	HORN	17	HORN
43	TUBA	84	TUBA
44	BRASS ENSEMBLE	92	BRASS ENSEMBLE 1
45	POWER BRASS	83	WOW TRUMPET
46	SYNTH BRASS 1	00	SYNTH BRASS 1
47	SYNTH BRASS 2	82	SYNTH BRASS 2
48	PIPE ORGAN	29	PIPE ORGAN 2
49	JAZZ ORGAN	01	JAZZ ORGAN

PSR-3500		MIDI OUT	
NO.	VOICE	NO.	VOICE
50	ROCK ORGAN	27	ROCK ORGAN
51	STREET ORGAN	57	STREET ORGAN
52	HUMAN VOX	96	HUMAN CHORUS
53	HUSKY	95	HUMAN VOICE 2
54	WHISTLE	23	WHISTLE
55	CLASSIC GUITAR	73	CLASSIC GUITAR
56	FOLK GUITAR	36	FOLK GUITAR
57	JAZZ GUITAR	12	JAZZ GUITAR
58	ROCK GUITAR	68	ROCK GUITAR 2
59	DISTORTION GUITAR	13	ROCK GUITAR 1
60	MUTE GUITAR	70	ROCK GUITAR 4
61	BANJO	34	BANJO
62	MANDOLIN	74	MANDOLIN
63	SITAR	75	SITAR
64	KOTO	76	KOTO
65	SHAMISEN	77	SHAMISEN
66	ACOUSTIC BASS	14	WOOD BASS 1
67	BOWED BASS	35	BOWED BASS
68	ELEC. BASS 1	38	ELECTRIC BASS 1
69	ELEC. BASS 2	79	ELECTRIC BASS 2
70	SLAP BASS	39	SLAP BASS
71	FRETLESS BASS	80	ELECTRIC BASS 3
72	SYNTH BASS 1	81	WOOD BASS 2
73	SYNTH BASS 2	58	SYNTH BASS 1
74	SYNTH BASS 3	86	SYNTH BASS 2
75	HOLLOW SYNTH	98	MUSIC SAW
76	SOFT CLOUD	46	JUG
77	DAYBREAK	53	HARPSICHORD 2
78	SUNBEAM	56	BANDNEON
79	ARABESQUE	69	ROCK GUITAR
80	AQUA	28	TREMOLO ORGAN
81	LANDSCAPE	99	SINE WAVE
82	METALLIC	43	SYNTH REED
83	CRYSTAL	35	HAWAIIAN GUITAR
84	ICE BLOCK	48	ICE BLOCK
85	GLASS BELL 2	63	HAND BELL
86	SYNTH BELLS	40	UKULELE
87	BELL FOUNTAIN	72	12 STRING GUITAR
88	PLUCK	60	SYNTH (PERCUSS)
89	SYNTHRIMBA	71	PEDAL STEEL GUITAR
90	AFRICAN PERCUSS.	55	GLASS CELESTA
91	AFTER BURNER	85	SYNTH REED 2
92	FUNNY	91	SAMBA WHISTLE
93	MONSTER	87	FLUGEL HORN
94	HA HA HA /	94	HUMAN VOICE 1
95	EMERGENCY	49	REED ORGAN
96	RACING CIRCUIT	93	WOODWIND ENSEMBLE
97	STORM	89	OCALINA
98	WAVE	02	PIPE ORGAN 1
99	ORCHESTRA HIT	90	ORCHESTRA HIT

※本ページの表の左側はパネル上の音色、右側は標準音色です。

※ □ でかこまれた音色は、パネル上の音色と標準音色が異なります。

※44、45ページの表の左側は標準音色、右側はパネル上の音色です。

※ □ でかこまれた音色は、標準音色とパネル上の音色が異なります。

● STANDARD VOICE MODE INPUT VOICE NUMBER CHART

MIDI IN		PSR-3500	
NO.	VOICE	NO.	VOICE
00	SYNTH BRASS 1	46	SYNTH BRASS 1
01	JAZZ ORGAN	49	JAZZ ORGAN
02	PIPE ORGAN 1	28	FLUTE
03	PIANO 1	00	PIANO 1
04	HARPSICHORD 1	05	HARPSICHORD
05	ELECTRIC PIANO 1	03	E. PIANO 1
06	CELESTA	07	CELESTA
07	VIBRAPHONE	09	VIBES
08	MARIMBA	13	MARIMBA
09	STEEL DRUM	16	STEEL DRUM
10	VIOLIN 1	25	VIOLIN
11	CELLO	26	CELLO
12	JAZZ GUITAR	57	JAZZ GUITAR
13	R. GUITAR 1 (DIST)	59	DISTORTION GUITAR
14	WOOD BASS 1	66	ACOUSTIC BASS
15	TRUMPET	39	TRUMPET
16	TROMBONE	41	TROMBONE
17	HORN	42	HORN
18	SAX	34	SAXOPHONE 1
19	CLARINET	31	CLARINET
20	FLUTE	28	FLUTE
21	OBOE	32	OBOE
22	HARMONICA	36	HARMONICA
23	WHISTLE	54	WHISTLE
24	MUSIC BOX	19	MUSIC BOX
25	HONKY-TONK PIANO	02	HONKY-TONK PIANO
26	TOY PIANO	08	TOY PIANO
27	ROCK ORGAN	50	ROCK ORGAN
28	TREMOLO ORGAN	57	JAZZ ORGAN
29	PIPE ORGAN 2	48	PIPE ORGAN
30	FUNKY CLAVI	06	CLAVI
31	ACCORDION	37	ACCORDION
32	GLOCKENSPIEL	10	GLOCKEN
33	HAWAIIAN GUITAR	56	FOLK GUITAR
34	BANJO	61	BANJO
35	BOWED BASS	67	BOWED BASS
36	FOLK GUITAR	56	FOLK GUITAR
37	HARP	27	HARP
38	ELECTRIC BASS 1	68	ELEC. BASS 1
39	SLAP BASS	70	SLAP BASS
40	UKULELE	62	MANDOLIN
41	STRINGS 1	20	STRINGS 1
42	ALPENHORN	42	HORN
43	BAGPIPE	38	BAG PIPES
44	MUTE TRUMPET	40	MUTE TRUMPET
45	SYNTH REED 1	75	HOLLOW SYNTH
46	JUG	76	SOFT CLOUD
47	PAN FLUTE	29	PAN FLUTE
48	ICE BLOCK	84	ICE BLOCK
49	REED ORGAN	51	STREET ORGAN
50	STRINGS 2	21	STRINGS 2
51	SYNTH STRINGS	23	SYNTH STRINGS 1
52	PIANO 2	01	PIANO 2
53	HARPSICHORD 2	05	HARPSICHORD
54	ELECTRIC PIANO 2	04	E. PIANO 2
55	GLASS CELESTA	90	AFRICAN PERCUSS.
56	BANDONEON	37	ACCORDION
57	STREET ORGAN	51	STREET ORGAN
58	SYNTH BASS 1	73	SYNTH BASS 2
59	XYLOPHONE	12	XYLOPHONE
60	SYNTH (PERCUSS)	88	PLUCK
61	KALIMBA	17	KALIMBA
62	TUBULA BELLS	11	CHIMES
63	HAND BELL	19	MUSIC BOX

MIDI IN		PSR-3500	
NO.	VOICE	NO.	VOICE
64	CARILLON	11	CHIMES
65	PIZZICATO VIOLIN	22	PIZZ STRINGS
66	TIMPANI	15	TIMPANI
67	VIOLIN 2	25	VIOLIN
68	R.GUITAR 2	58	ROCK GUITAR
69	R.GUITAR 3	58	ROCK GUITAR
70	R.GUITAR 4	60	MUTE GUITAR
71	PEDAL STEEL GUI	56	FOLK GUITAR
72	12 STRING GUITAR	56	FOLK GUITAR
73	CLASSIC GUITAR	55	CLASSIC GUITAR
74	MANDOLIN	62	MANDOLIN
75	SITAR	63	SITAR
76	KOTO	64	KOTO
77	SHAMISEN	65	SHAMISEN
78	PIZZ. STRINGS	22	PIZZ. STRINGS
79	ELECTRIC BASS 2	69	ELEC. BASS 2
80	ELECTRIC BASS 3	71	FRETLESS BASS
81	WOOD BASS 2	72	SYNTH BASS 1
82	SYNTH BASS 2	47	SYNTH BRASS 2
83	WOW TRUMPET	39	TRUMPET
84	TUBA	43	TUBA
85	SYNTH REED 2	76	SOFT CLOUD
86	SYNTH BASS 2	74	SYNTH BASS 3
87	FLUGELHORN	42	HORN
88	RECORDER	30	RECORDER
89	OCARINA	54	WHISTLE
90	ORCHESTRA HIT	99	ORCHESTRA HIT
91	SAMBA WHISTLE	54	WHISTLE
92	BRASS ENSEMBLE	44	BRASS ENSEMBLE
93	WOODWIND ENSEM.	31	CLARINET
94	HUMAN VOICE 1	52	HUMAN VOX
95	HUMAN VOICE 2	53	HUSKY
96	HUMAN CHORUS	52	HUMAN VOX
97	KAZOO	33	BASOON
98	MUSIC SAW	75	HOLLOW SYNTH
99	SIN WAVE	28	FLUTE
100	—	14	BAMBOO MARIMBA
101	—	18	GAMELAN
102	—	24	SYNTH STRINGS 2
103	—	80	AQUA
104	—	81	LANDSCAPE
105	—	82	METALLIC
106	—	83	CRYSTAL
107	—	35	SAXOPHONE 2
108	—	45	POWER BRASS
109	—	75	HOLLOW SYNTH
110	—	76	SOFT CLOUD
111	—	77	DAYBREAK
112	—	78	SUNBEAM
113	—	79	ARABESQUE
114	—	85	GLASS BELLS
115	—	86	SYNTH BELLS
116	—	87	BELL FOUNTAIN
117	—	89	SYNTHERIMBA
118	—	90	AFRICAN PERCUSS.
119	—	91	AFTER BURNER
120	—	98	WAVE
121	—	92	FUNNY
122	—	93	MONSTER
123	—	94	HA HA HA!
124	—	95	EMERGENCY
125	—	96	RACING CIRCUIT
126	—	97	STORM
127	—	XX	NO CHANGE

● STANDARD VOICE MODE RHYTHM INSTRUMENT CHART

MIDI IN		PSR-3500
NO.	KEY	RHYTHM INSTRUMENT
33	A ₀	—
34	A [#] ₀	—
35	B ₀	—
36	C ₁	—
37	C [#] ₁	—
38	D ₁	SYNTH SNARE
39	D [#] ₁	—
40	E ₁	SYNTH TOM BASS
41	F ₁	SYNTH TOM LOW
42	F [#] ₁	SYNTH TOM MID
43	G ₁	SYNTH TOM HI
44	G [#] ₁	BASS DRUM 2
45	A ₁	BASS DRUM 1
46	A [#] ₁	RIM SHOT 2
47	B [#] ₁	BASS TOM
48	C ₂	LOW TOM
49	C [#] ₂	SNARE HI
50	D ₂	MID TOM
51	D [#] ₂	RIM SHOT
52	E ₂	SNARE LO
53	F ₂	HI TOM
54	F [#] ₂	HAND CLAP
55	G ₂	COWBELL
56	G [#] ₂	SHAKER (CABASA)
57	A ₂	HI-HAT CLOSE
58	A [#] ₂	BRUSH HIT
59	B ₂	HI-HAT OPEN
60	C ₃	CRASH CYMBAL
61	C [#] ₃	SPLASH CYMBAL
62	D ₃	RIDE CYMBAL CUP
63	D [#] ₃	RIDE CYMBAL
64	E ₃	CONGA LOW
65	F ₃	CONGA HI OPEN
66	F [#] ₃	CONGA HI MUTE
67	G ₃	BONGO LOW
68	G [#] ₃	BONGO HI
69	A ₃	TIMBALES LOW
70	A [#] ₃	TIMBALES HIGH
71	B ₃	TAMBOURINE
72	C ₄	CASTANET
73	C [#] ₄	CLAVES
74	D ₄	AGOGO LOW
75	D [#] ₄	AGOGO HI
76	E ₄	CUICA LOW
77	F ₄	CUICA HI
78	F [#] ₄	WHISTLE
79	G ₄	BRUSH
80	G [#] ₄	—
81	A ₄	—
82	A [#] ₄	—
83	B ₄	—
84	C ₅	—
85	C [#] ₅	—
86	D ₅	—
87	D [#] ₅	—
88	E ₅	—
89	F ₅	—
90	F [#] ₅	—
91	G ₅	—
92	G [#] ₅	—
93	A ₅	—
94	A [#] ₅	—
95	B ₅	—
96	C ₆	—

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。
(日本国内のみ有効)

●保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで仕間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、方々やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

[修理受付および修理品お預り窓口]

北海道電音サービスセンター 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内

TEL.011-513-5036

仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL.022-236-0249

東京電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL.044-434-3100

新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F

TEL.025-243-4321

浜松電音サービスセンター 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ楽器竹工場内

TEL.0534-65-6711

名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ楽器名古屋流通センター

TEL.052-652-2230

大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL.06-877-5262

京都電音サービスステーション 〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F

TEL.075-361-6470

神戸電音サービスステーション 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内

TEL.078-321-1195

四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ楽器高松店内

TEL.0878-22-3045

広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39

TEL.082-874-3787

九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092-472-2134

[本社]

電音サービス部 〒435 浜松市上西町911
TEL.0534-65-1158

北海道支店 LM営業課 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター
TEL.011-512-6113

仙台支店 LM営業課 / 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10
住友生命仙台青葉通ビル
TEL.022-222-6140

東京支店 特販営業課 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル
TEL.03-572-3130

名古屋支店 LM営業課 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052-201-5150

大阪支店 特販営業課 / 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9
心齋橋プラザビル東館
TEL.06-252-7491

広島支店 LM営業課 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082-244-3749

九州支店 LM営業課 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092-472-2130

本社 電子楽器営業部 / 〒430 浜松市中沢町10-1
ポータブル営業課 TEL.0534-60-3271

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社

YAMAHA feelin' club



T4960693042366